



令和 6 年度 鹿児島県サイクルツーリズム推進事業 業務実施報告書

令和 7 年 3 月

株式会社 J T B
鹿児島支店

1. 事業概要	3 ~ 5
2. 鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会の開催・運営	
協議会の開催・運営	6 ~ 7
地域部会の開催・運営	8 ~ 33
FAMトリップツアーの実施	34 ~ 44
3. 県観光サイト内サイクルツーリズム特集ページの運営	45 ~ 48
4. サイクステーション及びサイクリストに優しい宿 登録施設に配布する物品作成	49 ~ 50
5. サイクリスト動向調査	51 ~ 62
6. モデルルートの道路管理者別延長の整理	63 ~ 75
7. 総括	76

■事業名称

鹿児島県サイクルツーリズム推進事業

■事業目的

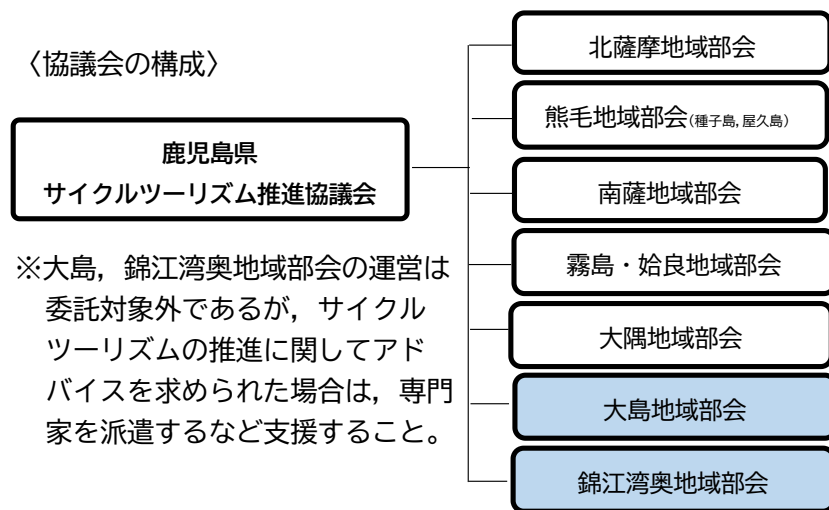
鹿児島県では、令和3年度、市町村や観光協会、道路管理者、サイクル関係団体、障害者団体等の幅広い関係者による「鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会」を設置した。これまでモデルルート24ルートの設定、サイクルツーリズムロゴマークの作成、サイクルツーリズム特集HPの開設、モニターツアー、サイクルナビゲーター養成講座の実施等に取り組んできたが、サイクリストを滞在させるコンテンツの不足、モデルルートの認知不足など様々な課題を抱えている。

これらの課題を解決することにより、本件の豊かな地域資源を活かしたサイクルツーリズムを推進し、各地域に経済効果を波及させることを目的とする。

■業務内容

1) 鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会の開催・運営

サイクルツーリズムを関係者が一体となって推進するための情報共有や取組方針の合意形成を図るための「鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会」の開催・運営を行う。



ア 県全体協議会の開催・運営 2回程度の開催

- ① 開催回数 2回程度(7月，1～2月頃)
- ② 内容 第1回：今年度の取組について等
第2回：今年度事業の報告等
- ③ 受託者の業務 協議会の開催・運営に伴う一切の業務とし，広報，会場手配・設営，資料作成・印刷，議事録の作成，座長への謝金等の支払い及び必要な情報収集を含む。

※ 協議会の座長は以下の者とする。

【座長】CCCチャリン・コ・クリエイション株式会社 代表取締役社長 黒川 剛 氏

イ 地域部会の開催・運営

- ① 対象地域 南薩，北薩摩，霧島・始良，大隅，熊毛（種子島，屋久島）
- ② 開催回数 各部会2回程度 ※地域の実情に合わせて委託者との協議により決定
- ③ 内容 ・受入環境整備について，サイクリスト誘客の具体的な取組について検討 等
・地域部会の提案に応じ，有識者の助言を活用しながら，各モデルルートの特徴を活かしたサイクルツーリズム事業（例：イベント，プロモーションなど）を1～2地域程度（総事業費：5,000千円以内）において実施する。なお，同取組については大島地域部会も対象とする。
- ④ 受託者の業務 ・地域部会の開催・運営に伴う一切の業務とし，会場手配・設営，有識者手配，資料作成・印刷，議事録の作成及び必要な情報収集を含む。
・また，各モデルルートの特徴を活かしたサイクルツーリズム事業の開催・運営に伴う一切の業務とする。

(2) 県観光サイト内 サイクルツーリズム特集ページの運営

県観光サイト「かごしまの旅」内にある，サイクルツーリズム特集HPについて，サイクルステーションや危険箇所等の追加掲載について，委託者からの求めに応じ，随時対応すること。

※ 英語，繁体字サイトについてはネイティブ翻訳もしくはネイティブチェックを必ず実施すること。

(3) かごしまサイクルステーション及び鹿児島県サイクリストに優しい宿登録施設に配布する物品作成業務

サイクルステーション及びサイクリスト向け宿泊施設の登録施設のうち，希望する施設に対して配布するのぼり旗及びステッカーを作成すること。また，施設への発送も行うこと。

- ① 作成数 のぼり旗 ：40枚程度

ステッカー：40枚程度

（サイクルステーション20枚，宿泊施設20枚程度）

※ 製作データを提供するので，同様の規格で作成すること。

※ のぼり旗，ステッカー（サイクルステーション，宿泊施設）については，それぞれ緑色，オレンジ色2色展開で同数作成すること。

(4) サイクリスト動向調査

今後のサイクルツーリズム施策に活かすため，サイクリストの属性（性別，年齢，居住地等）や消費行動を明らかにする調査を実施し，分析を行った上で，報告書を作成すること。

また，アンケート回答者に抽選でプレゼントするサイクルノベルティ（50個以内）を作成すること。

- ① 報告書提出期限 1～2月頃に開催予定の県全体協議会で公表できるように作成を行うこと。

※ 調査サンプル数，実施時期含む調査方法，質問項目，分析手法，サイクルノベルティのデザイン等について提案すること。

(5) モデルルートの道路管理者別延長の整理

本県のサイクルモデルルート全24ルートのうち，種子島，屋久島ルート以外のルートを対象に，道路管理者毎の延長を整理すること。

- ① 整理表提出期限：9月頃

- ② 報告イメージ

※ 他ルートと重複している区間を省いて，県整備方針基準例に基づく純粋に矢羽根整備が必要な距離も別途明らかにすること。

北薩ルート	距離	備考
国管轄		国道〇号・・・〇km
県管轄		国道〇号・・・〇km 県道〇号・・・〇km
市町村管轄		〇〇市の〇〇線・・・〇km 〇〇町の〇〇線・・・〇km
合計		

(6) その他

本県サイクルツーリズム推進の継続性の観点から以下，全体協議会・地域部会には，有識者の以下2名を必ず含めるほか，その他の業務においても助言を求めること。

【有識者】CCCチャリン・コ・クリエーション株式会社 代表取締役社長 黒川 剛 氏
合同会社 トビチカンパニー 小口 良平 氏

■業務報告

- (1) 進捗状況報告 委託者の求めに応じ，事業の進捗状況や成果等について報告すること。
- (2) 委託業務終了届 委託業務終了後，履行期間内に委託業務終了届を提出すること。
- (3) 成果物 委託業務終了届提出時に下記成果物についても併せて提出すること。
 - ア 業務報告書(各業務の取組内容，取組結果，次年度以降の改善策・提言)
 - イ のぼり旗及びステッカー
 - ウ サイクリスト動向調査報告書，サイクルノベルティ
 - エ モデルルートの道路管理者別延長調査整理表

2. 鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会の開催・運営

6

■ 第1回協議会の開催

実施日時	令和6年7月25日（木） 14:00～16:00
実施場所	ホテル自治会館505号室 Teams オンライン配信 併用形式
参加人数	現地会場20名／オンライン50名 計70名

・黒川座長による進行

〔議事〕 1. 報告事項

①県協議会の取り組みについて

【説明者：鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR観光課 東 主幹】

【説明者：株式会社JTB 鹿児島支店 井上 営業担当部長】

②九州山口サイクルツーリズム推進委員会・サイクリングアイランド九州の取り組みについて

【説明者：鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR観光課 東 主幹】

③大島地域部会の取り組みについて

【説明者：鹿児島県 大島支庁 総務企画課 商工観光係 納山 主幹】

④錦江湾奥会議の取り組みについて

【説明者：姶良市 商工観光課 緒方 主査】

⑤自転車走行空間整備状況について

【説明者：鹿児島県 土木部 道路維持課 福永 技術専門員】

2. 有識者より

【合同会社トビチカンパニー 小口 良平 氏】

3. 講演 福岡県のサイクルツーリズムの取り組みについて

【講師①：公益社団法人福岡県観光連盟 事業推進特任部長 古賀 晴美 氏】

【講師②：株式会社Bike is Life 代表取締役 山田 大五郎 氏】



■ 第2回協議会の開催

実施日時	令和7年2月18日（火） 14:00～16:00
実施場所	ホテル自治会館505号室 Teams オンライン配信 併用形式
参加人数	現地会場12名／オンライン59名 計71名

・黒川座長による進行

〔議事〕 1. 報告事項

①県協議会の取り組み報告について

【説明者：株式会社JTB 鹿児島支店 竹下 営業担当課長】

【説明者：株式会社Bike is Life 山田 代表】

②地域部会の意見交換の内容について

【説明者：株式会社JTB 鹿児島支店 竹下 営業担当課長】

③九州山口サイクルツーリズム推進委員会・サイクリングアイランド九州の取り組みについて
るるぶFREEスタンプラリー実施報告について

【説明者：鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR観光課 小谷 主査】

④錦江湾奥会議の取り組みについて

【説明者：始良市 商工観光課 緒方 主査】

⑤大島地域部会の取り組みについて

【説明者：鹿児島県 大島支庁 総務企画課 商工観光係 今村 主査】

⑥県管理道路の自転車走行空間整備について

【説明者：鹿児島県 土木部 道路維持課 福永 技術専門員】

⑦奄美×弱虫ペダルの実施報告について

【説明者：鹿児島県旅客船協会 若松 事務局長】

2. 令和7年度事業について

【説明者：鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR観光課 小谷 主査】

3. 有識者より

【合同会社トビチカンパニー 小口 良平 氏】



■第1回北薩摩地域部会の開催

実施日時	令和6年8月21日（水） 10:00～11:30
実施場所	北薩地域振興局 別館2階 第6会議室
参加人数	12名

【議事】①北薩・甕島ルートの一部変更について

【説明者：鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR観光課 小谷 主査】

②県協議会の今年度取り組みについて

【説明者：株式会社JTB 鹿児島支店 竹下 営業担当課長】

- ・インバウンドをターゲットとしたFAMトリップツアーの実施
- ・サイクリスト動向調査の実施
- ・サイクルステーション、サイクリストに優しい宿の新規登録募集

③インバウンドをターゲットとした地域の魅力あふれるコースづくり
【ワークショップ】

- ・実施趣旨説明
- ・ゴールイメージ共有
- ・地域素材出しのグループワーク
- ・グループ発表



■ワークショップ

ワークショップでは、インバウンドをターゲットに、地域の魅力あふれる観光素材を洗い出す作業を行った。

◎目的

サイクリングをフックとして地域の魅力を楽しんでいただくことを目指し、これにより観光消費額のアップやリピーター化につなげる。そのために、地域に存在する観光素材を掘り起こし、各地の特色を改めて認識していただくことを目指す。

◎目標

インバウンドをターゲットに、北薩地域の魅力を盛り込んだ3泊4日のコースを作り上げる。

◎ワークショップの進め方

- ・ステップ1：地域に存在する観光素材の洗い出し（個人ワーク）
- ・ステップ2：インバウンド向けのコースを検討（グループワーク）
- ・ステップ3：発表

■ワークショップ発表内容

●発表：Aグループ

- ・コースタイトル：自慢の歴史と自然を満喫 ・ターゲット国：東シナ海およびヨーロッパ
- ・ターゲット人数：1人～6人 ・ターゲット形態：家族、友人などの少人数グループ
- ・時期：ー
- ・コース紹介：1日目／鹿児島空港→（バスまたは列車）→いちき串木野市へ移動し、地元スポットの観光や海鮮マグロ、かもねぎといった食事、温泉などを楽しむ、宿泊は吹上浜のグランピング施設
- 2日目／いちき串木野市→薩摩川内市へ移動し、おれんじ鉄道に自転車を積み込み、鉄道とサイクリングの両方を楽しむ。景色の美しいスポットで途中下車し、サイクリングを満喫→長島町へ移動し、長島八景などの観光を楽しみながら、長島のゲストハウスへ（宿泊）
- 3日目／長島町→出水市へ移動し、武家屋敷群の散策やツルの観察などを楽しむ、宿泊は出水の「RITA」
- 4日目／出水市→鹿児島空港へ移動し、帰国
- ・コースポイント：宮島のゲストハウスではインバウンド観光客への対応が整っており、さまざまな体験を楽しめる。また、九州全体のサイクルツーリズムの傾向として、天草パールラインが九州の主要なスポットの一つとして挙げられる。このルートは長島を通り、フェリーで天草に向かう逆ルートとして設定されており、長島特有の景色を楽しむことができる点が大きな魅力となっている。

●発表：Bグループ

- ・コースタイトル：オーシャンビューと歴史体験ツアー ・ターゲット国：台湾（直行便が利用可能）
- ・ターゲット人数：夫婦 ・ターゲット形態：子育てを終え、生活にゆとりがある層
- ・時期：春と秋の過ごしやすい季節を想定（夏の暑さ、冬の海沿いの荒天を避ける）
- ・コース紹介：1日目／鹿児島空港→薩摩川内市へ移動し、「丸武」、「新田神社」を観光し、「磯の家」に宿泊
- 2日目／薩摩川内市→自転車で3号線を北上し、阿久根市へ移動し、「ぶえん館」で昼食を楽しむ→阿久根大島へ移動し、自然を満喫→車で出水市へ移動し、宿泊は「RITA」
- 3日目／出水市でゆっくり1日を過ごし、出水駅、武家屋敷群などを楽しむ、宿泊は「RITA」
- 4日目／出水市→鹿児島空港へ移動し、帰国
- ・コースのポイント：移動の全てを自転車ではなく、要所要所でサイクリングを取り入れたメリハリのあるコース設計。朝焼けの時間帯に海沿いを走ることで、絶景を楽しむ特別な体験を提供する。また、「丸武」ではおすすめの兜や甲冑の体験、出水の武家屋敷群を巡ることで、歴史やゆったりと流れる時間を感じていただけるコース。

●発表：Cグループ

- ・コースタイトル：北薩ぐるっと満喫コース ・ターゲット国：欧米
- ・ターゲット人数：少人数 ・ターゲット形態：家族、カップル
- ・時期：秋から冬
- ・コース紹介：1日目／鹿児島空港→出水市へ移動し、武家屋敷群で着物の着付け体験や観光牛車に乗る体験などを楽しんだ後、蕨島の「ペンションわらびの丘」で宿泊（きれいな景色を堪能しながらゆったりと過ごしていただける）
- 2日目／出水市・ツル観察センターでツルの観察→長島町へ移動し、「長島大陸市場食堂」で鯉王のブリカツなどを堪能→阿久根市へ移動し、「農園ガーデン空」でカフェタイムやくだもの狩り、スイーツ、スポーツレジャー施設を満喫→薩摩川内市へ移動し、「磯の家」に宿泊
- 3日目／早朝、月屋山に登り、タイミングが合えば雲海を堪能、その後「丸武」で甲冑の着付け体験→さつま町へ移動し、鶴田ダムのカレーを味わい（昼食）、その後「鶴田ダム」の施設見学→伊佐市へ移動し、曾木の滝で美しい景色を楽しみ、伊佐市内で宿泊
- 4日目／伊佐市→鹿児島空港へ移動し、帰国

■第2回北薩摩地域部会の開催

実施日時	令和7年1月21日（火） 10:00～11:30
実施場所	北薩地域振興局 別館2階 第6会議室
参加人数	16名

【議事】①今年度事業の取り組み報告について

【説明者：株式会社JTB 鹿児島支店 竹下 営業担当課長】

- ・FAMトリップツアー実施報告
- ・サイクリストセグメント調査結果報告
- ・サイクルステーション、サイクリストに優しい宿の登録状況報告



②地域サイクルイベントにおける誘客促進について

【グループワーク】

- ・地域サイクルイベント概要説明

【説明者：磯の家 蔵野 氏】

- ・検討テーマ出し

①サイクルイベントがツーリズム分野でどのような効果を生み出すか

②サイクルイベントを地域でどのように盛り上げていくか

③サイクルイベントに地域がどのように絡んでいくか

- ・グループワーク

- ・グループ発表



■グループワーク

検討テーマ①：サイクルイベントがツーリズム分野でどのような効果を生み出すか

サイクルイベントをツーリズムとどのように結びつけ、滞在時間延長や消費額拡大につなげるかを検討する。ツーリズム分野では、単なるイベント開催にとどまらず、地域に宿泊し、観光や食、体験型コンテンツを楽しんでもらうことで地域経済に好影響を与えることが求められている。

検討テーマ②：サイクルイベントを地域でどのように盛り上げていくか

サイクルイベントの地域内外への周知や、イベント参加やおもてなしを通して地域外と地域内の人がつながることで、将来的なりピーター化ならびに参加拡大へ貢献する取り組みを検討する。

検討テーマ③：サイクルイベントに地域がどのように絡んでいくか

運営者だけではなく地域全体の連携が不可欠である。ボランティアスタッフの確保や、その他細かな課題を解決するために、地域がどのように関わり、盛り上げていくのかを検討する。

■グループワーク発表内容

●Aグループ

検討テーマ①：サイクルイベントは、観光地の魅力を発信する機会となり、参加者がInstagramなどのSNSで情報を発信することで、新たな観光客層の呼び込みにつながると考えられる。

検討テーマ②：ウェルカムパーティーや交流会を実施し、イベント参加者と地域住民との交流を促進することが有効である。現在、北薩地域はサイクルイベントに対する認知度が低く、過去に開催されたサイクルフェスタも十分に知られていなかったのが実情である。地域の活性化を図るためには、継続的な大会の開催を通じて、地域住民の参加を促し、小中高生など若い世代にも自転車の魅力を知ってもらう体験会を実施することが重要だと考える。

検討テーマ③：地域への情報発信を強化し、イベント開催の事前告知を徹底することで、地域住民の理解と協力を得ることが重要である。例えば、地元の食材を活かしたウェルカムパーティーを開催し、地域の経済効果を高めるなど地域の特色を活かした企画を取り入れることが効果的だと考える。

●Bグループ

検討テーマ①：単日開催のイベントでは、飲食以外の経済効果が限定的になる可能性があるため、2～3日間にわたるイベントにすることで、宿泊を伴い、地域への経済効果がより大きくなるのではという意見が出た。また、参加者がYouTubeやInstagramなどのSNSで発信することで、その投稿を見た人が地域を訪れるなど、相乗効果が期待できるのではないかと意見もあった。

検討テーマ②：バスや電車などの交通手段の整備に加え、地域にはまだ広く知られていない魅力的な宿泊施設やホテルが多数あるため、こうした施設を積極的に紹介することで、地域全体としてイベントを盛り上げられるのではないかと意見があった。また、一つの地域に限定せず、広域にまたがるイベントを実施することで、海外からの参加者や九州県内を周遊する旅行者にとって、地域を訪れるきっかけを作れるのではないかと意見も出た。

検討テーマ③：自治体のホームページにイベント情報を掲載することで、より多くの人に広報できるのではないかと意見があった。また、レストランなどの飲食店と連携し、地域の食文化をイベントの一部として提供することで、地域との結びつきを強めることができるのではないかと意見も出た。

●Cグループ

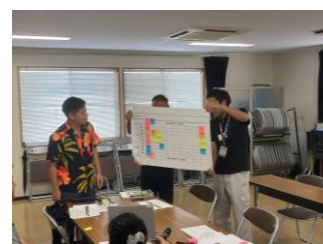
検討テーマ①：開催地の内外から参加者を集めることで、インバウンドを含めた誘客が期待できる。また、イベントを2日間以上の長期間開催することで、前泊・後泊が増え、滞在時間の延長や消費額の増加につながるのではないかと意見があった。

検討テーマ②：事前の広報が最も重要であり、SNSやPR手法を工夫しながら、効果的な告知を行うことが必要ではないかと意見があった。また、参加者向けの特典として、コース内にQRコードを設置し、フォトスポットやチェックポイントを巡ることで、開催地域内の飲食店や宿泊施設で割引を受けられる仕組みを導入すると、さらなる盛り上がりにつながるのではないかと提案もあった。

検討テーマ③：自転車のアクシデントが発生した際に、修理やサポートを行うスタッフを配置し、サポートカーのように巡回させることで、地域がイベントに貢献できるのではないかと意見があった。

■第1回南薩地域部会の開催

実施日時	令和6年8月21日（水） 14:30～16:00
実施場所	南薩地域振興局 別館 第5会議室
参加人数	21名
【議事】①県協議会の今年度取り組みについて 【説明者：株式会社JTB 鹿児島支店 竹下 営業担当課長】 ・インバウンドをターゲットとしたFAMトリップツアーの実施 ・サイクリスト動向調査の実施 ・サイクルステーション、サイクリストに優しい宿の新規登録募集 ②インバウンドをターゲットとした地域の魅力あふれるコースづくり 【ワークショップ】 ・実施趣旨説明 ・ゴールイメージ共有 ・地域素材出しのグループワーク ・グループ発表	



■ワークショップ

ワークショップでは、インバウンドをターゲットに、地域の魅力あふれる観光素材を洗い出す作業を行った。

◎目的

サイクリングをフックとして地域の魅力を楽しんでいただくことを目指し、これにより観光消費額のアップやリピーター化につなげる。そのために、地域に存在する観光素材を掘り起こし、各地の特色を改めて認識していただくことを目指す。

◎目標

インバウンドをターゲットに、北薩地域の魅力を盛り込んだ3泊4日のコースを作り上げる。

◎ワークショップの進め方

- ・ステップ1：地域に存在する観光素材の洗い出し（個人ワーク）
- ・ステップ2：インバウンド向けのコースを検討（グループワーク）
- ・ステップ3：発表

■ワークショップ発表内容

●発表：Aグループ

- ・コースタイトル：— ・ターゲット国：直行便のあるアジア圏（上海、台湾）からの自転車好きな方
- ・ターゲット人数：— ・ターゲット形態：—
- ・時期：—
- ・コース紹介：1日目／鹿児島空港→南さつま市へ移動し、自転車レンタルスポット「きやったもんせ南さつま」で自転車を借りる→南さつま街道八景（国道226号）海岸沿いの美しい景色を眺めながらサイクリング→枕崎市へ移動し、宿泊
- 2日目：（午前中）枕崎市の「火之神公園」を観光し、「お魚センター」に移動し、体験やお土産購入や地元の新鮮な地魚料理を堪能→（午後）南九州市へ移動し、「釜蓋神社」、「番所鼻自然公園」で参拝や観光→指宿市へ移動し、宿泊
- 3日目／（1日かけて指宿市を満喫）西大山駅→「唐船峡」でそうめん流し体験（昼食）→砂むし風呂体験→宿泊
- 4日目／指宿市→鹿児島空港へ移動し、帰国
- ・コースポイント：—

●発表：Bグループ

- ・コースタイトル：— ・ターゲット国：台湾ファミリー向けのコース
- ・ターゲット人数：— ・ターゲット形態：ファミリー
- ・時期：—
- ・コース紹介：1日目／鹿児島空港→南さつま市へ移動し、「木花館」でそば打ち体験→「きやったもんせ南さつま」でお土産などの買い物→宿泊は「さんぱる」
- 2日目／南さつま市「りんりん」で自転車を借りてサイクリング→亀ヶ丘で海の景色を堪能→「りんりん」に戻り、自転車を返却後、バスまたはレンタカーで枕崎市へ移動→「お魚センター」で薫焼き体験と昼食→「明治蔵」焼酎試飲（自転車に乗る場合はお土産のみ）→枕崎市へ移動し、宿泊「岩戸ホテル」
- 3日目／枕崎市→南九州市へ移動し、「番所鼻自然公園」、「釜蓋神社」、「タツノオトシゴハウス」を観光→指宿市へ移動し、「唐船峡」で昼食→「池田湖」や新しくできたカフェを楽しむ→宿泊「白水館」
- 4日目／指宿市→鹿児島空港へ移動し、帰国
- ※市間の移動はバスまたはレンタカーを利用し、訪問先ごとに適切な移動手段を選択。レンタカーを利用する場合は、それぞれの市で借りて返却する形になる。

●発表：Cグループ

- ・コースタイトル：南九州周遊コース（仮） ・ターゲット国：欧米
- ・ターゲット人数：2～4人 ・ターゲット形態：30代～50代の富裕層
- ・時期：—
- ・コース紹介：1日目／鹿児島空港→福山町へ移動し、黒酢「桝志田」→桜島を通り、鹿児島市に渡り、鹿児島市内「城山ホテル」に宿泊
- 2日目／鹿児島市→指宿市へ移動し、砂むし温泉体験→「唐船峡」で昼食→南さつま市へ移動し、「マルス津貫蒸溜所」見学とお土産購入→宿泊は「松屋旅館」
- 3日目／南さつま市→景色を楽しみながらサイクリング→日置市へ移動し、「蓬莱館」で江口漁協直送の海鮮ランチを堪能→美山へ移動し、陶芸体験→いちき串木野市へ移動し、宿泊「吹上浜フィールドホテル」
- 4日目／いちき串木野市→鹿児島空港へ移動し、帰国

■第2回南薩地域部会の開催

実施日時	令和7年1月21日（火） 14:00～15:30
実施場所	南薩地域振興局 本庁舎3階 第2・3会議室
参加人数	21名
【議事】①今年度事業の取り組み報告について 【説明者：株式会社JTB 鹿児島支店 竹下 営業担当課長】 ・FAMトリップツアー実施報告 ・サイクリストセグメント調査結果報告 ・サイクルステーション、サイクリストに優しい宿の登録状況報告 ②地域サイクルイベントにおける誘客促進について 【グループワーク】 ・地域サイクルイベント概要説明 【説明者：南さつま市 観光交流課 服部 主事】 ・検討テーマ出し ①サイクルイベントがツーリズム分野でどのような効果を生み出すか ②サイクルイベントを地域でどのように盛り上げていくか ③サイクルイベントに地域がどのように絡んでいくか ・グループワーク ・グループ発表	



■グループワーク

検討テーマ①：サイクルイベントがツーリズム分野でどのような効果を生み出すか

サイクルイベントをツーリズムとどのように結びつけ、滞在時間延長や消費額拡大につなげるかを検討する。ツーリズム分野では、単なるイベント開催にとどまらず、地域に宿泊し、観光や食、体験型コンテンツを楽しんでもらうことで地域経済に好影響を与えることが求められている。

検討テーマ②：サイクルイベントを地域でどのように盛り上げていくか

サイクルイベントの地域内外への周知や、イベント参加やおもてなしを通して地域外と地域内の人がつながることで、将来的なリピーター化ならびに参加拡大へ貢献する取り組みを検討する。

検討テーマ③：サイクルイベントに地域がどのように絡んでいくか

運営者だけではなく地域全体の連携が不可欠である。ボランティアスタッフの確保や、その他細かな課題を解決するために、地域がどのように関わり、盛り上げていくのかを検討する。

■グループワーク発表内容

●Aグループ

検討テーマ①：現状では南さつま市の宿泊・受入キャパシティの限界が課題となっている。また、ツール・ド・南さつまに参加する県外からの来訪者が多くないことから、直接的な観光消費への波及効果を出すのは難しいとの見解が示された。

検討テーマ②：イベントの成功には地域の企業や団体との連携・協力が不可欠であり、特に指宿市の菜の花マラソンが参考になる事例として挙げられた。菜の花マラソンでは、地域住民が自主的におもてなしを行っており、このような地元住民の主体的な関わりがサイクルイベントでも必要ではないか。

検討テーマ③：ツール・ド・南さつままでは、すでに地域住民が特産品の提供などのおもてなしを行っているが、今後さらに地域の関わりを強めるためには、地域の学生ボランティアの参加促進や、地域の自転車店やメカニックとの連携によるサポート体制を強化し、安心して参加できる環境を整備していきたい。

●Bグループ

検討テーマ①②③：最終的には、地域の活性化や経済波及効果につながることを望ましいという意見があった。一方で、まずは地域内の盛り上げを優先し、その結果として経済的な効果が生まれるべきだという意見もあった。事例として、マルシェ内で「ちびっこノリダー」というイベントを実施しているという話が挙げられた。このイベントでは、子どもをターゲットにすることで、必ず親や祖父母も一緒に来場し、自然と家族全体の参加につながるという利点がある。こうしたマルシェや関連イベントを通じて、自転車をより身近に感じてもらうことが重要である。また、別の意見として、レンタサイクルではなく、自分の自転車を持参し、集合場所のみを決めて観光地を巡る、より気軽なイベントの開催案も出た。ターゲットとしては、親子での参加をはじめ、ファミリー層を中心にしつつも、特定の層に限定せず幅広い参加を促したい。さらに、小規模なイベントから始め、徐々に規模を拡大し、最終的には広域でのイベント開催を目指すのがよいのではないか、という意見もあった。

●Cグループ

検討テーマ①：南薩方面は交通の便が良くないため、イベントの集客が難しいという課題が挙げられた。その中で、効果的なアピール方法を模索する必要があるという意見があった。具体的には、「ツール・ド・南さつま」において、参加者の90%が県内の方であることから、地域密着型のイベントになりつつあるのではないかと指摘があった。一方で、県外からの参加者を増やすことで、地域経済への波及効果を高められるのではという意見もあった。県内の参加者は、提供される特産品に対する新鮮味が薄いため、県外の参加者を呼び込むことで、地域ならではの魅力が購買につながる可能性がある。

検討テーマ②③：サイクルイベントには民間企業やボランティアも関わるが、売上や運営上の制約があるため、できること・できないことを明確にし、行政と地域が共通認識を持って協力する必要があるという意見があった。また、サイクルイベント単体では参加者層が限られ、集客の間口が狭くなってしまうという課題も指摘された。そのため、イベントの裾野を広げるために、マルシェを併設するなど、サイクリストの家族も楽しめる要素を取り入れることで、より多くの地域住民が参加しやすくなるのではないかと意見が出た。

■第1回大隅地域部会の開催

実施日時	令和6年8月19日（月） 9：30～11：00
実施場所	大隅地域振興局 本館1階 小会議室
参加人数	23名
【議事】①県協議会の今年度取り組みについて 【説明者：株式会社JTB 鹿児島支店 竹下 営業担当課長】 ・インバウンドをターゲットとしたFAMトリップツアーの実施 ・サイクリスト動向調査の実施 ・サイクルステーション、サイクリストに優しい宿の新規登録募集 ②インバウンドをターゲットとした地域の魅力あふれるコースづくり 【ワークショップ】 ・実施趣旨説明 ・ゴールイメージ共有 ・地域素材出しのグループワーク ・グループ発表	



■ワークショップ

ワークショップでは、インバウンドをターゲットに、地域の魅力あふれる観光素材を洗い出す作業を行った。

◎目的

サイクリングをフックとして地域の魅力を楽しんでいただくことを目指し、これにより観光消費額のアップやリピーター化につなげる。そのために、地域に存在する観光素材を掘り起こし、各地の特色を改めて認識していただくことを目指す。

◎目標

インバウンドをターゲットに、北薩地域の魅力を盛り込んだ3泊4日のコースを作り上げる。

◎ワークショップの進め方

- ・ステップ1：地域に存在する観光素材の洗い出し（個人ワーク）
- ・ステップ2：インバウンド向けのコースを検討（グループワーク）
- ・ステップ3：発表

■ワークショップ発表内容

●発表：Aグループ

- ・コースタイトル：本土最南端を目指す弾丸ツアー3泊4日 ・ターゲット国：—
- ・ターゲット人数：— ・ターゲット形態：—
- ・時期：—
- ・コース紹介：1日目／鹿児島空港から曾於市で国鉄の線路跡を散策→「フォレストアドベンチャー」で自然体験を楽しむ
2日目／※2コース作成
コース①大隅で「ツール・ド・おおすみ」（11月～12月の時期を活かしたイベント）を体験しながら「佐多岬」まで移動、宿泊は「ユクサおおすみ」
コース②「佐多岬」で体験や観光、宿泊は「ユクサおおすみ」
3日目／「ユクサおおすみ」→垂水市へ移動し、イチョウ並木を観光→桜島へ移動し、温泉掘り体験などを楽しむ→空港周辺へ移動し、宿泊
4日目／鹿児島空港から帰国
・コースポイント：チーム内のエリア構成は、南大隅、鹿屋、曾於、桜島エリアのメンバーで構成され、それぞれが自分たちの地域素材をアピールし、それをつなぎ合わせて一つのツアーを作り上げた。

●発表：Bグループ

- ・コースタイトル：時計回りで大隅を体感する（入門編） ・ターゲット国：—
- ・ターゲット人数：— ・ターゲット形態：—
- ・時期：—
- ・コース紹介：1日目／鹿児島空港から曾於市「悠久の森」で緑豊かな自然体験→「溝ノ口洞穴」で洞窟や鳥居といった“クールジャパン”の雰囲気を楽しむ→宿泊は都城市の「スノーピーク」へ（現在注目を集めるホットスポットでの滞在）
2日目／都城市→末吉市「道の駅すえよし」で食事とお土産などの買い物を楽しむ→志布志市へ移動し、海の幸を味わえる「武者武者」で昼食→肝付町へ移動し、「内之浦口ケット基地」を見学→「岸良海岸」で自然豊かな青い海を体験→志布志市へ戻り宿泊は「ボルベリアダグリ」
3日目／垂水市の足湯で疲れを癒やす→鹿屋市へ移動し、宿泊は「ユクサおおすみ」
4日目／鹿屋市から鹿児島空港へ移動し、帰国（鹿屋市から空港までの連絡バスを活用することで、自転車を持参する旅行者にも対応可能）
・コースポイント：このツアーは、鹿屋、曾於、大隅（国道事務所）、サンフラワーのメンバーで構成されるチームが、それぞれの視点からバランスの取れた内容を考えた「入門編」として企画した。多彩な体験を通じて、大隅の魅力を広く感じていただけるコースとなった。

■ワークショップ発表内容

●発表：Cグループ

- ・コースタイトル：大隅縦断満喫ライド ・ターゲット国：直行便がある国
- ・ターゲット人数：ガイドを含めて4人まで ・ターゲット形態：上級者
- ・時期：—
- ・コース紹介：1日目／鹿児島空港から曾於市へ移動し、「溝ノ口洞穴」を観光→鹿屋市へ移動し、宿泊は「寿ホテル」
- 2日目／鹿屋市から海岸線を通り、「荒平天神」など海沿いの名所を観光→南大隅町で昼食「味の大砲」→「佐多岬」へ移動し、観光→南大隅町へ移動（宿泊）
- 3日目／南大隅町→肝付町へ移動し、「JAXA宇宙基地」を見学→「叶岳ふれあいの森」→昼食は“えっがね”を堪能→鹿屋市を通り、曾於市へ移動、宿泊は「たからべ森の学校」
- 4日目／曾於市から鹿児島空港へ移動し、帰国
- ・コースポイント：このグループは唯一警察関係者が参加しており、交通法令の遵守を前提としたガイド付きツアーとして考えた。

●発表：Dグループ

- ・コースタイトル：— ・ターゲット国：特にこだわりなし
- ・ターゲット人数：少人数（5人程度） ・ターゲット形態：—
- ・時期：—
- ・コース紹介：1日目／鹿児島空港から曾於市へ移動し、そば打ち体験や乗馬体験また、夏場には「溝ノ口洞穴」を観光、宿泊は農家民泊を想定
- 2日目／曾於市→大崎町へ移動し、石鹼作り体験や観光地巡りを楽しむ、昼食はうなぎを堪能→東串良町へ移動し、宿泊は「マルマリン」
- 3日目：東串良町→鹿屋市へ移動し、「荒平天神」などを観光→垂水市へ移動し、昼食後、「道の駅たるみず はまびら」でサップなどのマリンスポーツ体験などを楽しむ→（車移動）「猿ヶ城溪谷」へ移動し、宿泊は「猿ヶ城溪谷 森の駅たるみず」

■第2回大隅地域部会の開催

実施日時	令和7年1月22日（水） 10:00～11:30
実施場所	大隅地域振興局 別館2階 大会議室
参加人数	21名

【議事】①今年度事業の取り組み報告について

【説明者：株式会社JTB 鹿児島支店 竹下 営業担当課長】

- ・FAMトリップツアー実施報告
- ・サイクリストセグメント調査結果報告
- ・サイクルステーション、サイクリストに優しい宿の登録状況報告

②地域サイクルイベントにおける誘客促進について

【グループワーク】

- ・地域サイクルイベント概要説明

【説明者：鹿屋市 市民生活部 市民スポーツ課 黒原 主事】

- ・検討テーマ出し

①サイクルイベントがツーリズム分野でどのような効果を生み出すか

②サイクルイベントを地域でどのように盛り上げていくか

③サイクルイベントに地域がどのように絡んでいくか

- ・グループワーク

- ・グループ発表



■グループワーク

検討テーマ①：サイクルイベントがツーリズム分野でどのような効果を生み出すか

サイクルイベントをツーリズムとどのように結びつけ、滞在時間延長や消費額拡大につなげるかを検討する。ツーリズム分野では、単なるイベント開催にとどまらず、地域に宿泊し、観光や食、体験型コンテンツを楽しんでもらうことで地域経済に好影響を与えることが求められている。

検討テーマ②：サイクルイベントを地域でどのように盛り上げていくか

サイクルイベントの地域内外への周知や、イベント参加やおもてなしを通して地域外と地域内の人がつながることで、将来的なリピーター化ならびに参加拡大へ貢献する取り組みを検討する。

検討テーマ③：サイクルイベントに地域がどのように絡んでいくか

運営者だけではなく地域全体の連携が不可欠である。ボランティアスタッフの確保や、その他細かな課題を解決するために、地域がどのように関わり、盛り上げていくのかを検討する。

■グループワーク発表内容

●Aグループ

検討テーマ①：サイクルイベントによる宿泊・飲食などを通じた地域への消費拡大は大前提としてあるが、その中で以下の点が重要であるとの意見が挙がった。

- ・イベントと観光PR・企業PRの組み合わせにより、まずは地域を知ってもらうことが大切。
- ・イベントを通じた地域の認知向上がリピート訪問の増加につながる。
- ・地域の活性化の相乗効果を生み出すためには、継続的な情報発信と仕掛けが必要。

検討テーマ②③：海外旅行者の中には地域との交流を求める声があることから、教育旅行の受入が盛んな大隅地域の特性を活かし、地元住民との交流や「おもてなし文化」を取り入れたイベント運営ができるのではないかという意見があった。

●Bグループ

検討テーマ①：「ツール・ド・おおすみ」では県外からの参加者が多く、リピーター獲得にもつながっている。また、イベント前日に受付を実施し、その際に観光情報を提供することで、宿泊を促し、地域の周遊効果を高めることができるのではないかという意見があった。イベントと観光を組み合わせることで、地域経済への波及効果をさらに拡大できる可能性がある。

検討テーマ②：サイクリングイベントはプロや上級者向けのイメージが強いが、一般層やファミリー層も参加しやすい工夫が必要。各市町のイベントと抱き合わせで開催することで、より多くの人に参加できる仕組みが作れるのではないか。子ども向けの体験ブースを設置することで、次世代へのサイクリング文化の普及にもつながるのではないかという意見があった。

検討テーマ③：イベントを通じて、自転車の存在が地域に浸透し、住民の関心を高めることができる。二次交通事業者や地域の商店と連携し、自転車利用者向けののぼり旗することで受け入れ体制を強化できるのではないか。最も重要な点として、サイクルイベントの普及が地域住民の健康増進にもつながる可能性があるという意見があった。

●Cグループ

検討テーマ①：通常サイクリングは少人数で楽しむことが多いが、イベントとして開催することでまとまった集客につながるのではないかという意見があった。例えば、「ツール・ド・おおすみ」では同じジャージを着てチームで参加者もあり、大勢で訪れることで、地元での飲み会や宿泊需要が生まれる可能性があるという意見があった。また、イベントをきっかけに何百人もの来場者を呼び込むだけでなく、再訪につなげることも重要である。そのため、イベントコースだけでなく、大隅には他にも魅力的なサイクリングコースがあることを提示し、リピートを促す仕組みを作ることが有効ではないかという意見が出た。

検討テーマ②：他の地域イベントと同時開催することで、さらなる誘客につなげられるのではないかという意見があった。例えば、鹿屋の商店街で開催される新酒祭りなどと連携し、参加者に地元の飲食店で使えるクーポンを配布すれば、地域経済の活性化につなげられるのではないかと考えられる。一般的に、自転車利用者はあまり消費をしないと言われがちだが、クーポンがあれば「せっかくだから食事をしよう」「少し飲んでみよう」といった行動につながりやすくなるのではないかという意見があった。

検討テーマ③：地域住民の参加を促す方法として、沿道での応援を活用するアイデアが挙がった。具体的には、応援用の旗を配布し、住民に沿道で選手を応援してもらうことで、地域の一体感が生まれるとともに、参加者にも「温かい地域だ」という印象を持ってもらいやすくなる。これにより、リピート訪問を促せるのではないかという意見があった。また、マラソンとサイクリングの両方を楽しむ層が一定数いることを踏まえ、異なる大会同士でスタンプラリーを実施するのも有効ではないかという提案があった。

■第1回霧島・始良地域部会の開催

実施日時	令和6年8月19日（月） 14:00～15:30
実施場所	霧島市役所 別館2階 2-1会議室
参加人数	6名

【議事】①県協議会の今年度取り組みについて

【説明者：株式会社JTB 鹿児島支店 竹下 営業担当課長】

- ・インバウンドをターゲットとしたFAMトリップツアーの実施
- ・サイクリスト動向調査の実施
- ・サイクルステーション、サイクリストに優しい宿の新規登録募集

②インバウンドをターゲットとした地域の魅力あふれるコースづくり

【ワークショップ】

- ・実施趣旨説明
- ・ゴールイメージ共有
- ・地域素材出しのグループワーク
- ・グループ発表



■ワークショップ

ワークショップでは、インバウンドをターゲットに、地域の魅力あふれる観光素材を洗い出す作業を行った。

◎目的

サイクリングをフックとして地域の魅力を楽しんでいただくことを目指し、これにより観光消費額のアップやリピーター化につなげる。そのために、地域に存在する観光素材を掘り起こし、各地の特色を改めて認識していただくことを目指す。

◎目標

インバウンドをターゲットに、北薩地域の魅力を盛り込んだ3泊4日のコースを作り上げる。

◎ワークショップの進め方

- ・ステップ1：地域に存在する観光素材の洗い出し（個人ワーク）
- ・ステップ2：インバウンド向けのコースを検討（グループワーク）
- ・ステップ3：発表

■ワークショップ発表内容

●発表：Aグループ

- ・コースタイトル：始良・伊佐・湧水 始良伊佐地域振興局管内を周るコース ・ターゲット国：韓国
- ・ターゲット人数：4～5人 ・ターゲット形態：個人
- ・時期：秋頃
- ・コース紹介：1日目／鹿児島空港→湧水町へ移動し、「丸池湧水」などを観光→霧島市へ移動し、霧島温泉郷に宿泊
- 2日目／霧島市「バレル・バレー」を観光→始良市へ移動し、「カフェらびゅー」で昼食を楽しむ、「蒲生の大楠」などを観光し、宿泊は「フォントナの丘かもう」（温泉でゆっくりできる）
- 3日目／「重富海岸」散策→国分・霧島など海沿いサイクリングを楽しみながら→福山町へ移動し、昼食は「桺志田」または「坂本醸造の壺畑」→妙見温泉へ移動し、宿泊は「石原荘」または「雅叙苑」
- 4日目／妙見温泉→鹿児島空港へ移動し、帰国
- ・コースポイント：始良伊佐地域を巡るルートを提案。曾木の滝なども候補として挙げたが、今回はこのような流れでまとめた。

●発表：Bグループ

- ・コースタイトル：鹿児島島の自然を楽しむ3泊4日ツアー ・ターゲット国：香港の富裕層
- ・ターゲット人数：— ・ターゲット形態：ファミリー
- ・時期：秋（紅葉の時期）で、気候的にもサイクリングを楽しむのに適した季節を設定
- ・コース紹介：1日目／鹿児島空港→E-bikeで嘉例川駅へ移動→霧島へ移動し、宿泊「旅行人山荘」（露天風呂が自然豊かでおすすめ）
- 2日目／「霧島神宮」（1時間散策）→「神水峡」（火山活動が生んだ壮大な景観を堪能）→「高千穂牧場」で昼食、その後動物との触れ合い体験やグルメ体験を楽しむ→霧島で宿泊「界 霧島」（ラグジュアリーな滞在でリフレッシュ）
- 3日目／霧島→サポートカーで福山町へ移動し、福山町の海沿いをサイクリングで楽しむ→「桺志田」（昼食）→海沿いサイクリング→国分市（市内観光、ヴォアラ珈琲でのカフェタイムやお土産購入）→国分市に宿泊「ホテル京セラ」
- 4日目／国分市→鹿児島空港へ移動し、帰国
- ・コースポイント：ファミリー層をターゲットにE-bikeを活用したツアーを提案

■第2回霧島・始良地域部会の開催

実施日時	令和7年1月22日（水） 14:00～15:30
実施場所	始良・伊佐地域振興局 本庁舎4階 大会議室
参加人数	7名
【議事】①今年度事業の取り組み報告について 【説明者：株式会社JTB 鹿児島支店 竹下 営業担当課長】 ・FAMトリップツアー実施報告 ・サイクリストセグメント調査結果報告 ・サイクルステーション、サイクリストに優しい宿の登録状況報告 ②地域サイクルイベントにおける誘客促進について 【グループワーク】 ・地域サイクルイベント概要説明 【説明者：公益社団法人霧島市観光協会 本部事務所 川原 主任】 ・検討テーマ出し ①サイクルイベントがツーリズム分野でどのような効果を生み出すか ②サイクルイベントを地域でどのように盛り上げていくか ③サイクルイベントに地域がどのように絡んでいくか ・グループワーク ・グループ発表	



■グループワーク

検討テーマ①：サイクルイベントがツーリズム分野でどのような効果を生み出すか

サイクルイベントをツーリズムとどのように結びつけ、滞在時間延長や消費額拡大につなげるかを検討する。ツーリズム分野では、単なるイベント開催にとどまらず、地域に宿泊し、観光や食、体験型コンテンツを楽しんでもらうことで地域経済に好影響を与えることが求められている。

検討テーマ②：サイクルイベントを地域でどのように盛り上げていくか

サイクルイベントの地域内外への周知や、イベント参加やおもてなしを通して地域外と地域内の人がつながることで、将来的なリピーター化ならびに参加拡大へ貢献する取り組みを検討する。

検討テーマ③：サイクルイベントに地域がどのように絡んでいくか

運営者だけではなく地域全体の連携が不可欠である。ボランティアスタッフの確保や、その他細かな課題を解決するために、地域がどのように関わり、盛り上げていくのかを検討する。

■グループワーク発表内容

●Aグループ

検討テーマ①②③：霧島・始良地域でまず必要なことは、地域の理解で、何かしらイベントをすることによってその地域に住む方の生活に影響を与えるかもしれないので、理解が重要だと考えた。

サイクルイベントで具体的な内容というよりは、自転車に親しんでいただけるような機会、例えば地域のお祭で自転車の体験コーナーを設けることで、この町は自転車で盛り上げようとしているという機運を作っていくことから初め、そういったことができてくれば、自然とイベントへの協力もいただきやすく、できる範囲で徐々にやっていけると面白いのではと思う。

霧島と始良という地域柄、それなりの資源があり、たくさん来ていただける地域ではあるので、わざわざ自転車で事故が発生するかもしれないリスクを背負ってまでイベントをする必要はないのではという意見があった。協力体制を作るために、地域全体で自転車は面白い、自転車のイベントは素敵だなと思っていただけるような機会を作ることが大事だと考えた。

●Bグループ

検討テーマ①②③：鹿児島県内でどれだけサイクリストが走っているかという議論の中で、霧島・始良地域では他の地域に比べてサイクリストを見かけることが少ないという意見があった。特に、上級者のサイクリストは時折見られるものの、観光客がサイクリングしている姿はほとんど見られないという現状が浮き彫りになった。

このような状況の中で、地域を盛り上げるためには、いきなりツール・ドのような大規模イベントを開催するのではなく、地域の既存イベントの一部としてサイクリング体験コーナーを設け、徐々に認知度を高めていくことが有効ではないかという意見が出た。こうした取り組みを通じて、地域住民にサイクリングへの関心を持ってもらい、理解を深めることで、将来的に大規模なサイクルイベントを実施する際の下地を作ることができると考えられる。徐々にサイクリング文化を根付かせることが、地域と一体となって盛り上げていく上で効果的な方法ではないかという意見が示された。

■第1回熊毛地域部会（種子島）の開催

実施日時	令和6年9月3日（火） 14:00～15:30
実施場所	熊毛支庁 3階 第1会議室
参加人数	13名

【議事】①県協議会の今年度取り組みについて

【説明者：株式会社JTB 鹿児島支店 竹下 営業担当課長】

- ・インバウンドをターゲットとしたFAMトリップツアーの実施
- ・サイクリスト動向調査の実施
- ・サイクルステーション、サイクリストに優しい宿の新規登録募集

②インバウンドをターゲットとした地域の魅力あふれるコースづくり

【ワークショップ】

- ・実施趣旨説明
- ・ゴールイメージ共有
- ・地域素材出しのグループワーク
- ・グループ発表



■ワークショップ

ワークショップでは、インバウンドをターゲットに、地域の魅力あふれる観光素材を洗い出す作業を行った。

◎目的

サイクリングをフックとして地域の魅力を楽しんでいただくことを目指し、これにより観光消費額のアップやリピーター化につなげる。そのために、地域に存在する観光素材を掘り起こし、各地の特色を改めて認識していただくことを目指す。

◎目標

インバウンドをターゲットに、北薩地域の魅力を盛り込んだ3泊4日のコースを作り上げる。

◎ワークショップの進め方

- ・ステップ1：地域に存在する観光素材の洗い出し（個人ワーク）
- ・ステップ2：インバウンド向けのコースを検討（グループワーク）
- ・ステップ3：発表

■ワークショップ発表内容

●発表：Aグループ

- ・コースタイトル：ヨガと自然を楽しむ ・ターゲット国：ヨガへの関心が高い欧米の方
- ・ターゲット人数：大人2～3名の少人数 ・ターゲット形態：大人
- ・時期：春・秋
- ・コース紹介：1日目／鹿児島空港→高速船で種子島へ移動。午後到着を想定し、西之表市街を散策後、「鉄砲館」で種子島の歴史に触れる。宿泊は「KOJIYA CAFE」を利用（畳敷き部屋で少人数対応可能）
- 2日目／西之表を満喫の1日。ホテル出発→西之表北部の「奥神社」（アコウの大木の涼やかな木陰と東屋がある休憩スポット）→「浦田海水浴場」で美しい海を鑑賞→「キマグレ民宿」でランチ→午後は浦田海水浴場近くの「天女ヶ倉」でヨガ体験→西之表市街に戻り、宿泊は温泉付きの「あらきホテル」で疲れを癒やす。
- ※ヨガ体験だけでは時間が余るため、「種子島鉄」・「種子包丁」の見学も提案。
- 3日目／西之表市街を楽しんだ後、中種子町へ移動。「旭町商店街」で自由に昼食を楽しむ（和食など多様な選択肢あり）。その後、「坂井神社」（日本一の大きなソテツが見どころ）や「古市家住宅」（管理人の話しや雰囲気の魅力）を訪問。宿泊は「よかな」またはカプセルホテルを利用。
- 4日目／中種子空港から鹿児島空港へ移動し、帰国
- ・コースポイント：種子島をヨガの聖地として売り出し、島全体を巡るのではなく上半分を中心に回るルートを提案

●発表：Bグループ

- ・コースタイトル：夕日・海・星満喫ツアー ・ターゲット国：—
- ・ターゲット人数：— ・ターゲット形態：—
- ・時期：—
- ・コース紹介：1日目／鹿児島空港から種子島へ移動 午後は自転車での移動を楽しみ、宿泊は南種子町の島間にある民宿でゆったりと過ごす。
- 2日目／島間から中種子町へ移動し、シーカヤック体験。海からの視点で種子島の魅力を堪能した後、昼食は野間の「バーレ」でローストビーフを味わう。午後は長浜海岸で夕日を楽しむ（絶景スポットとしておすすめ）。宿泊は南種子町のグランピング施設を利用し、美しい星空を眺めながら特別な夜を過ごす。
- 3日目／南種子町から西之表へ移動し、「KOJIYA CAFE」で昼食を楽しむ。その後、船で鹿児島市内へ戻り、鹿児島市内で宿泊。
- 4日目／鹿児島市内から鹿児島空港へ移動し、帰国
- ・コースポイント：種子島の自然を最大限楽しんでもらうことを目的としたツアー

■第2回熊毛地域部会（種子島）の開催

実施日時	令和7年1月29日（水） 13:30～15:00
実施場所	熊毛支庁 3階 第1会議室
参加人数	6名

【議事】①今年度事業の取り組み報告について

【説明者：株式会社JTB 鹿児島支店 竹下 営業担当課長】

- ・FAMトリップツアー実施報告
- ・サイクリストセグメント調査結果報告
- ・サイクルステーション、サイクリストに優しい宿の登録状況報告

②地域サイクルイベントにおける誘客促進について

【グループワーク】

- ・地域サイクルイベント概要説明

【説明者：種子島宇宙芸術祭実行委員会 事務局 小早 事務局長】

- ・検討テーマ出し

①サイクルイベントがツーリズム分野でどのような効果を生み出すか

②サイクルイベントを地域でどのように盛り上げていくか

③サイクルイベントに地域がどのように絡んでいくか

- ・グループワーク

- ・グループ発表



■グループワーク

検討テーマ①：サイクルイベントがツーリズム分野でどのような効果を生み出すか

サイクルイベントをツーリズムとどのように結びつけ、滞在時間延長や消費額拡大につなげるかを検討する。ツーリズム分野では、単なるイベント開催にとどまらず、地域に宿泊し、観光や食、体験型コンテンツを楽しんでもらうことで地域経済に好影響を与えることが求められている。

検討テーマ②：サイクルイベントを地域でどのように盛り上げていくか

サイクルイベントの地域内外への周知や、イベント参加やおもてなしを通して地域外と地域内の人がつながることで、将来的なリピーター化ならびに参加拡大へ貢献する取り組みを検討する。

検討テーマ③：サイクルイベントに地域がどのように絡んでいくか

運営者だけではなく地域全体の連携が不可欠である。ボランティアスタッフの確保や、その他細かな課題を解決するために、地域がどのように関わり、盛り上げていくのかを検討する。

■グループワーク発表内容

●Aグループ

検討テーマ①：島外からの観光客の増加が見込まれることで、島内の飲食店や宿泊施設などにおける消費額の増加が期待できる。

検討テーマ②：ロケット打ち上げが延期になった際、観光客がすぐに帰らずに種子島に滞在できるよう、自転車を「遊びのアイテム」として活用するのが有効ではないか。

地域住民のサイクリング参加率が低いため、まずは地元の方々が自転車の楽しさを体験する機会を増やすことが重要で、住民自身がサイクルイベントを楽しめるようになることで、地域としてイベントの運営に積極的に関わることができ、地域全体の盛り上がりにつながる可能性がある。

検討テーマ③：最初は自主的に少人数でイベントを実施し、地域にサイクルイベントを浸透させることから始めるのが望ましい。徐々に地域住民が運営に関与し、地域主導でイベントを継続できる体制を整えていくことが重要である。

●Bグループ

検討テーマ①：種子島では高速船や飛行機の運行時間が限られているため、サイクルイベントを誘客のきっかけとすることで、宿泊需要の増加が見込まれる。宿泊に伴う飲食消費の増加にもつながることから、イベントの実施がツーリズムに直結し、経済効果を生み出す可能性が高いという意見が出た。

検討テーマ②：種子島の現状を踏まえると、サイクリストが安全に走行できる環境整備が必要である。特に、車社会が根付いているため、自転車で走行する人が少なく、道路環境やサイクリスト向けの案内標識の整備が十分ではないという指摘があった。一部では看板設置が進んでいるものの、サイクリストが安心して走行できる状態には至っていないため、さらなる改善が求められる。また、イベントを成功させるためには、地域住民の理解と協力が不可欠であり、まずは住民向けに「自転車のルールや安全対策」の認知を広める必要があるという意見があった。

検討テーマ③：今回実施予定の種子島サイクルイベントでは、愛称募集を行うなど、企画段階から地元住民を巻き込むことを重視している。単にイベントを実施するのではなく、地域と共に準備段階から盛り上げていくことが重要であり、こうした取り組みが地域の関与を促す鍵になるという意見が出た。

■第1回熊毛地域部会（屋久島）の開催

実施日時	令和6年9月4日（水） 9：30～11：00
実施場所	熊毛支庁 屋久島事務所 第3会議室
参加人数	11名

【議事】①県協議会の今年度取り組みについて

【説明者：株式会社JTB 鹿児島支店 竹下 営業担当課長】

- ・インバウンドをターゲットとしたFAMトリップツアーの実施
- ・サイクリスト動向調査の実施
- ・サイクルステーション、サイクリストに優しい宿の新規登録募集

②インバウンドをターゲットとした地域の魅力あふれるコースづくり

【ワークショップ】

- ・実施趣旨説明
- ・ゴールイメージ共有
- ・地域素材出しのグループワーク
- ・グループ発表



■ワークショップ

ワークショップでは、インバウンドをターゲットに、地域の魅力あふれる観光素材を洗い出す作業を行った。

◎目的

サイクリングをフックとして地域の魅力を楽しんでいただくことを目指し、これにより観光消費額のアップやリピーター化につなげる。そのために、地域に存在する観光素材を掘り起こし、各地の特色を改めて認識していただくことを目指す。

◎目標

インバウンドをターゲットに、北薩地域の魅力を盛り込んだ3泊4日のコースを作り上げる。

◎ワークショップの進め方

- ・ステップ1：地域に存在する観光素材の洗い出し（個人ワーク）
- ・ステップ2：インバウンド向けのコースを検討（グループワーク）
- ・ステップ3：発表

■ワークショップ発表内容

●Aグループ発表

- ・コースタイトル：— ・ターゲット国：台湾の富裕層
- ・ターゲット人数：少人数 ・ターゲット形態：—
- ・時期：冬を除く3月～11月
- ・コース紹介：1日目／宮之浦に宿泊し、「観光センター」や「研修センター」を見学
2日目／（午前）「白谷雲水峡」での半日トレッキングを実施し、山中で弁当の昼食
（午後）買い物を楽しむ時間を設定（「杉匠」）し、地域への経済効果を期待→宿泊は「屋久島いわさきホテル」（温泉が充実しており、「尾之間温泉」、「平内海中温泉」、「湯泊温泉」など、地元で人気の温泉施設も近い。早めに到着した場合、自転車で温泉めぐりを楽しむことも可能）
3日目／世界自然遺産エリアを巡り、ハードなコースとなるため、1日をかけて西側をゆっくり回るプラン、小瀬田地区まで移動し宿泊
4日目／小瀬田地区から屋久島空港→鹿児島空港へ移動し、帰国

●Bグループ発表

- ・コースタイトル：— ・ターゲット国：欧米
- ・ターゲット人数：— ・ターゲット形態：—
- ・時期：真夏を避けて、秋から冬を想定。冬でも南部であれば気候的に問題ないと考えられる。
- ・コース紹介：具体的なコース設定は未定だが、屋久島の特産品であるぼんかんやタンカンの収穫体験を取り入れることで、旅行者に地域ならではの体験をしていただくアイデアが挙がった。また、島一周のルートをメインに据え、集落や里のエリアをいくつかに分け、それぞれをつなげる形でコースを作成する案や、荷物やスタッフが同行するサポートカーを活用するプランなど、複数のパターンを検討している。

■第2回熊毛地域部会（屋久島）の開催

実施日時	令和7年1月30日（木） 9:30～11:00
実施場所	熊毛支庁 屋久島事務所 第1会議室
参加人数	10名
【議事】①今年度事業の取り組み報告について 【説明者：株式会社JTB 鹿児島支店 竹下 営業担当課長】 ・FAMトリップツアー実施報告 ・サイクリストセグメント調査結果報告 ・サイクルステーション、サイクリストに優しい宿の登録状況報告 ②地域サイクルイベントにおける誘客促進について 【グループワーク】 ・地域サイクルイベント概要説明 【説明者：屋久島観光協会 事務局 日高 副会長】 ・検討テーマ出し ①サイクルイベントがツーリズム分野でどのような効果を生み出すか ②サイクルイベントを地域でどのように盛り上げていくか ③サイクルイベントに地域がどのように絡んでいくか ・グループワーク ・グループ発表	



■グループワーク

検討テーマ①：サイクルイベントがツーリズム分野でどのような効果を生み出すか

サイクルイベントをツーリズムとどのように結びつけ、滞在時間延長や消費額拡大につなげるかを検討する。ツーリズム分野では、単なるイベント開催にとどまらず、地域に宿泊し、観光や食、体験型コンテンツを楽しんでもらうことで地域経済に好影響を与えることが求められている。

検討テーマ②：サイクルイベントを地域でどのように盛り上げていくか

サイクルイベントの地域内外への周知や、イベント参加やおもてなしを通して地域外と地域内の人がつながることで、将来的なリピーター化ならびに参加拡大へ貢献する取り組みを検討する。

検討テーマ③：サイクルイベントに地域がどのように絡んでいくか

運営者だけではなく地域全体の連携が不可欠である。ボランティアスタッフの確保や、その他細かな課題を解決するために、地域がどのように関わり、盛り上げていくのかを検討する。

■グループワーク発表内容

●Aグループ

検討テーマ①：島外からの参加者が訪れることで、「自然を大切にする」「ゴミを持ち帰る」といった環境意識の向上につながる可能性がある。こうした意識改革が進むことで、地域全体の環境保護に対する取り組みが強化されるのではないかと。

検討テーマ②：まずは地域住民にイベントを知ってもらうことが重要である。島内の住民は、イベントへの参加だけでなく、「おもてなし」という形での関わり方も考えられる。

検討テーマ③：「おもてなし」という形での関与に加え、参加者の滞在を長くするための施策が必要である。サイクルイベントと他の観光コンテンツを組み合わせるなど、オプションルツアーを実施するなど、より魅力的な体験を提供できるのではないかと。一方で、「自転車の運搬費用が高い」という課題もあり、島内にレンタサイクルを整備することが解決策の一つとして考えられる。

◎Bグループ

検討テーマ①②③：山だけでなく、里の魅力も楽しめる観光のあり方を考えていきたい。特に、夏は暑さや虫の問題があるため、冬でも楽しめる観光コンテンツの充実が必要だと感じる。

また、E-bikeの普及を促進することの一つの方法として挙げられた。これにより、より多くの層がサイクリングを楽しめる環境を整えることが可能になる。

さらに、地元参加者の減少が課題となっているため、地域住民の掘り起こしが重要だという意見も出た。その一案として、規模の小さな大会を複数開催することで、地元の関心を高め、参加しやすい環境を作るのがよいのではないかと提案があった。

■協議会の開催・運営 所感

第1回では、福岡県観光連盟 古賀氏と株式会社Bike is Life 山田氏による講演を行った。九州内のサイクルツーリズム推進の先進地として、来県を促し消費拡大につなげる観点からお話いただき、今後の取組を推進していくモデルとなり得るものであった。

第2回では、当年度事業実施報告に終始。主には動向調査報告に時間を要したが、その中でインバウンドターゲット層やインバウンドの予約リードタイムに関する質問を受け、各地域においてサイクルツーリズムをフックにインバウンド誘客に関心があることが伺えた。

■地域部会の開催・運営 所感

(北薩摩)

薩摩川内サイクルフェスタの運営において、県関係者や自治体関係者のみならず、警察関係者や観光関係者と一体となった取り組みをしている印象を受けた。その薩摩川内の取り組みをさらに北部へ波及させるため、肥薩オレンジ鉄道を利用して広域を周遊できる強みを活かしたい。

(南薩)

多様なバイクが揃っており、自然景観が素晴らしく起伏に富んだルートもあるため、サイクル初心者から上級者まで広い層を狙えるエリアである。しかしながら、宿泊場所は鹿児島市または指宿市に偏ってしまうため、中間部で消費行動を起こさせる仕掛けが必要だろう。そのためにも、ツール・ド・南さつまのイベントにおいて、地域波及効果測定を行い、分析データから今後の施策を検討するべきである。

(大隅)

鹿屋体育大学やシエルブルー鹿屋が活動しているエリアとして、自転車文化が根付いていることが伺える。各自治体やDMOによるサイクリングイベントが多く、地域ならではのこだわりを持ったおもてなしも整っていることから、それぞれのイベントが横連携できればより誘客に繋げられるのではないかな。

(霧島・始良)

観光ポテンシャルの高いエリアでありながらも、サイクルロゲイニングの利用実績が伸びない課題を抱えており、イベントの売り方や見せ方の工夫を再考する必要がある。観光地であることからレンタサイクルの乗り捨てができると利用者にとってはメリットとなる可能性がある。

(熊毛(種子島))

民間からサイクリングの熱量を上げていく取り組みが段階的に進んでいると感じる。サイクリングイベントの愛称を募集したり、サイクルスタンド作りやサイクリングピクニックを開催するなど市民や町民が自転車に触れる機会を創出しており、徐々に気運が醸成されていくのではないかな。

(熊毛(屋久島))

サイクリング屋久島の参加者数やスポンサー数が減少傾向にある中で、新たな取り組みを考える段階にあると感じる。また、自転車運搬の配送料が高く、自転車持ち込みのハードルが上がることも課題である。屋久島というネームバリューを活かして、インバウンド富裕層の長期滞在を狙うなどの戦略を練る必要がある。

■FAMトリップツアー実施報告（台湾）

- ①実施地域 南薩（南さつま市～南九州市～指宿市）
 ②実施時期 令和6年12月7日（土）～10日（火） 3泊4日
 ③招聘者 ライオントラベル（雄獅旅行社股份）
 スポーツライフ（生活運動行鎖股份）
 イージーフライ（易飛網國際旅行社股份）

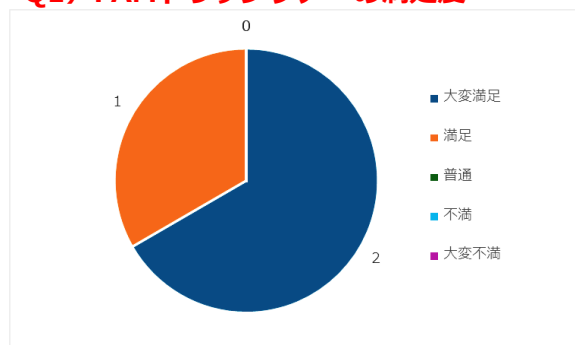
④実施行程

日次	月日 (曜日)	行程
1	12/7 (土)	CI118 桃園空港++++鹿児島空港====黒酢の郷桝志田====道の駅たるみず==== 8:25 11:15/12:10 13:00/14:30 14:50/15:30 ====桜島（黒髪埋没鳥居・湯之平展望所）====桜島港～～～鹿児島港====加世田ホテルよしや 15:40/16:40 16:55/17:15 17:30/17:40 18:40
2	12/8 (日)	ホテル====きやったもんせ🚲🚲🚲竹田神社🚲🚲🚲加世田麓武家屋敷群／鯨島邸🚲🚲🚲 8:30 8:35/9:00 🚲🚲🚲吹上浜海浜公園====松屋旅館（昼食）====くじらの眠る丘====亀ヶ丘==== 11:50/12:50 ====マルス津貫蒸留所====poturi（休憩）====加世田ホテルよしや 14:50/15:50 16:10/16:35 17:10
3	12/9 (月)	ホテル====釜蓋神社====番所鼻自然公園====池田湖🚲🚲🚲唐船峡そうめん流し==== 8:30 9:15/9:45 10:00/10:30 11:00/11:20 12:00/13:00 ====鰻温泉スメ体験====JR西大山駅====山川砂蒸し温泉砂湯里====知林ヶ島==== 13:20/14:50 ====砂蒸し会館砂楽====こらんの湯錦江楼 16:30/17:30 17:45
4	12/10 (火)	CI119 ホテル====鹿児島空港++++桃園空港 8:15 10:00/12:25 13:55

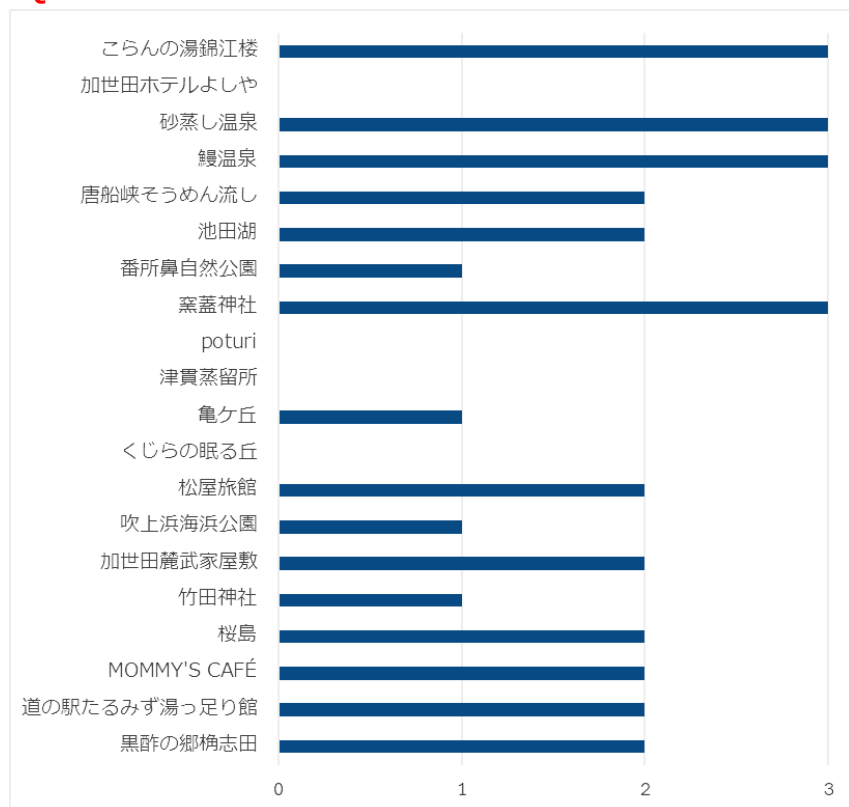


■アンケート集約（台湾）

Q1) FAMトリップツアーの満足度



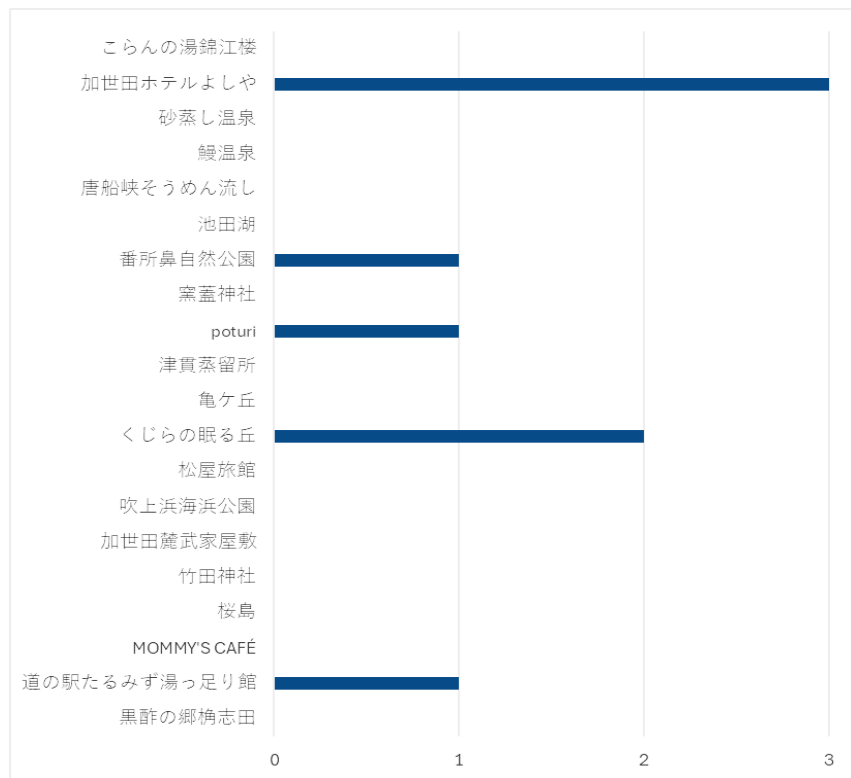
Q2) 面白かったスポット（複数選択可）



Q3) 面白かったと感じた理由

- ・ 景色はとてもユニークで、景色とセットになった足湯は地域ならではの体験です。亀ヶ丘公園に登って雄大な景色を眺めるのも魅力的です。マミーズカフェのサツマイモのミルクケーキはとてもユニークなので、台湾のサイクリストに喜ばれると思います。
- ・ 地域性があります。
- ・ 松屋の食事はとても美味しかったです。台湾の旅行グループへの団体食として提案が可能です。

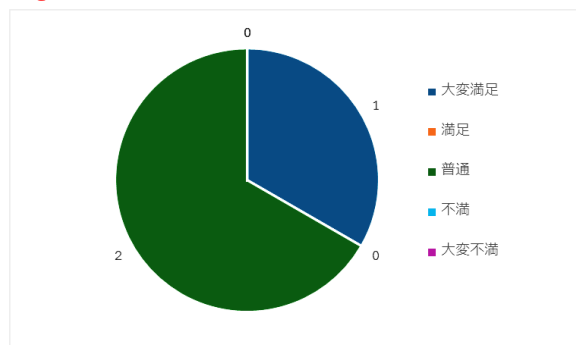
Q4) 面白くなかったスポット（複数選択可）



Q5) 面白くなかったと感じた理由と考えられる改善点

- ・アトラクションはどれも優れていますが、自転車観光の観点からは、ハードウェアの設備や魅力的なパッケージが不足している印象です。例えば、アトラクションには駐輪ラックや写真撮影用のインスタレーションアート、お土産に使える関連小物などが不足しています。砂蒸しはとてもユニークで、一日中サイクリングを楽しんだ後に最適です。
 - ・特色が不足しています。
 - ・くじらの眠る丘はアトラクションとして物足りないので、旅行日程に加える場合は、滞在時間を短めて計画を立てた方が良くと考えます。
- 南さつま市の宿泊施設規模は台湾人の一般グループには適さない印象です。

Q6) ライドの満足度



Q7) ライドの感想

- ・吹上浜は自転車の種類も豊富でかなり良いと思います。指宿のE-bikeレンタサイクルは、坂道でギアチェンジができない、推進力が足りないという課題を感じます。様々なレベルのサイクリストに満足していただけるよう、フラットハンドルの電動自転車やフラットハンドルのロードバイクを用意することをお勧めします。
- ・今回のFAMトリップツアーにおいて、バイク実走区間があまりなく、バイクも古いです。
- ・自転車を特定の観光スポットまでの移動手段として活用することもできると思います。自転車の種類が豊富で、他の九州地方より充実している印象です。

Q8) 今後商品造成するにあたり、鹿児島県に滞在する適正旅行日数を教えてください

4～6日間程度

Q9) 今後商品造成するにあたり、販売する場合の適正金額を教えてください

約180,000円～約315,000円程度

Q10) プログラム内容の母国での興味度を示してください（10段階評価）

7.33

平均評価



Q11) 今回滞在した南薩エリアの魅力について、感じたことを教えてください

- ・指宿の宿泊施設は温泉や部屋の広さ、設備も新しくて良かったです。
- ・ゆったりとリラックスした旅行を楽しむ方にお勧めします。

Q12) 今回滞在した南薩エリアの残念なポイントについて、感じたことを教えてください

- ・周囲にお店が少なく、加世田宿泊施設の浴場収容人数も限られています。錦江楼周辺には土産物店以外に買い物をする場所はなく、ホテル自体には自動販売機しかなく、一時的な買い物には不便です。
- ・冬は地域の観光資源が弱い印象です。
- ・加世田宿泊施設は規模として一般の観光客には適さないです。

■意見集約

【サイクルルート】

- ・一般旅行者向けであれば1日あたり20～30km×3日間程度のルート設定で良い。
- ・サイクルを目的としていれば、自然景観など魅力的なルートである。
- ・サイクル上級者層と、サイクル+観光層のルートを準備しておいて良い。
- ・一筆書きで走れる池田湖一周が良い。
- ・南さつま市は田舎で車が少なく、かつ自然が素晴らしいのでサイクルルートとしては良い。

【サイクルサービス】

- ・サポート等その場で解決してくれるスタッフがついてほしい。(メカトラブル等)
- ・自転車専属ガイドが日本の法令に則ってサポートしてほしい。
- ・Eバイクの提供をしてほしい。(電池など飛行機への持込はハードルが高い)
- ・しっかりとルートを走らせるならばロードバイクの用意が望ましい。
- ・ターゲット次第だが、自転車の種類を増やした方が良い。
- ・富士山・沖縄などのように、ルート走破の証明書を発行したら良い。(大会の順位結果よりも、大会に参加した証明が欲しい)
- ・佐賀での体験ではサイクルポイントスタンプラリーで免税500円引きなどの特典がある。
- ・北海道十勝で自治体が公認の400kmコースがあり、そのコースを回ることによって地域からのサポートや特典がある。
- ・サイクリスト向けの特典やポイント、ご朱印帳のようなシステム作りが必要ではないか。
- ・富士山大会はその年の干支にちなんだ景品があり、毎年参加することで景品をコンプリートできることが魅力の一つである。

【旅行観点】

- ・おもてなしや食事の面は良いが、宿泊施設などハードを整えなければならない。
- ・旅行商品として何を打ち出した内容にするのか工夫が必要である。
- ・池田湖のうなぎは商品価値を見出せない、ガイドが上手く説明しないと旅行商材にしづらい。
- ・宮崎・鹿児島は霧島神宮が評価を得られる位で他がない。
- ・poturiや抹茶体験より、マミーズカフェが評価高い。(ママさんの人柄)
- ・朝食についてはバイキング形式が望ましい、昼食・夕食は問題なし。

【ターゲット】

- ・医者や弁護士などの富裕層はサイクルよりマラソンであり、企業経営者がサイクル層に多い印象を持っている。
- ・自転車+αで、自転車だけではなく色々体験したい層が多い。
- ・台湾サイクリストは自転車に乗ること+映え・SNS投稿に適しているかどうかを重視している。



■FAMトリップツアー実施報告（韓国）

- ①実施地域 霧島・始良（霧島市～垂水市～鹿児島市）
 ②実施時期 令和6年12月12日（木）～15日（日） 3泊4日
 ③招聘者 ハナツアー
 旅行博士
 VIRTU COMPANY（バーチュカンパニー）

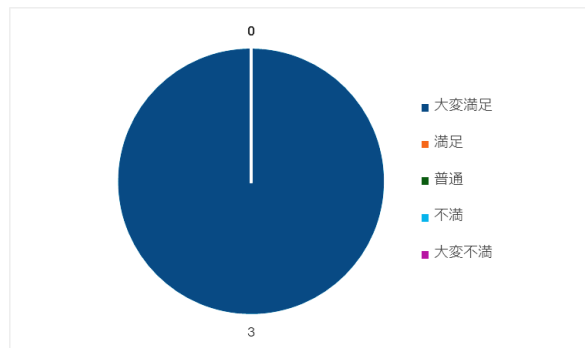
④実施行程

日次	月日 (曜日)	行程
1	12/12 (木)	博多駅―――鹿児島中央駅＝＝＝鹿児島空港 10:00集合/10:15 10:55 KE785 仁川空港→→→鹿児島空港＝＝＝時KIRISHIMA＝＝＝霧島アートの森＝＝＝ 9:20 10:55/11:50 12:10/13:10 13:50/14:40 ＝＝＝霧島市観光案内所／国宝霧島神宮＝＝＝ラビスタ霧島ヒルズ 15:30/17:00 17:20
2	12/13 (金)	ホテル＝＝＝黒酢の郷「桒志田」＝＝＝菅原神社🚲🚲🚲🚲田の神さあ🚲🚲🚲🚲 8:30 9:30/10:15 11:00/11:20 🚲🚲🚲🚲ケンファーム🚲🚲🚲🚲善八酒店🚲🚲🚲🚲天然温泉水寿鶴🚲🚲🚲🚲道の駅はまびら＝＝＝ 12:00/12:20 12:25/12:45 12:50/13:10 13:15/14:15 ＝＝＝千本イチョウ＝＝＝荒平天神＝＝＝ユクサおすみ海の学校＝＝＝ 14:30/15:00 15:30/16:00 16:05/16:40 ＝＝＝サウザンドガーデン垂水＝＝＝フェアフィールド・バイ・マリオットたるみず・・・夕食 17:00/17:20 17:30 18:00
3	12/14 (土)	ホテル＝＝＝黒髪埋没鳥居＝＝＝白浜温泉センター／桜島大根畑🚲🚲🚲🚲 8:30 9:10/9:20 9:40/10:00 🚲🚲🚲🚲桜島サイクリング／湯平展望所＝＝＝桜島ビジターセンター＝＝＝桜島港～～～ 10:00/11:00 11:20/11:40 12:00/12:20 12:25/12:45 ～～～鹿児島港＝＝＝仙巖園＝＝＝天文館散策＝＝＝レクストン鹿児島 13:00/13:05 13:20/14:50 15:10/16:40 16:50
4	12/15 (日)	ホテル～～～（タクシー送迎）～～～鹿児島中央駅 各自ご帰国の途に 8:30 8:45

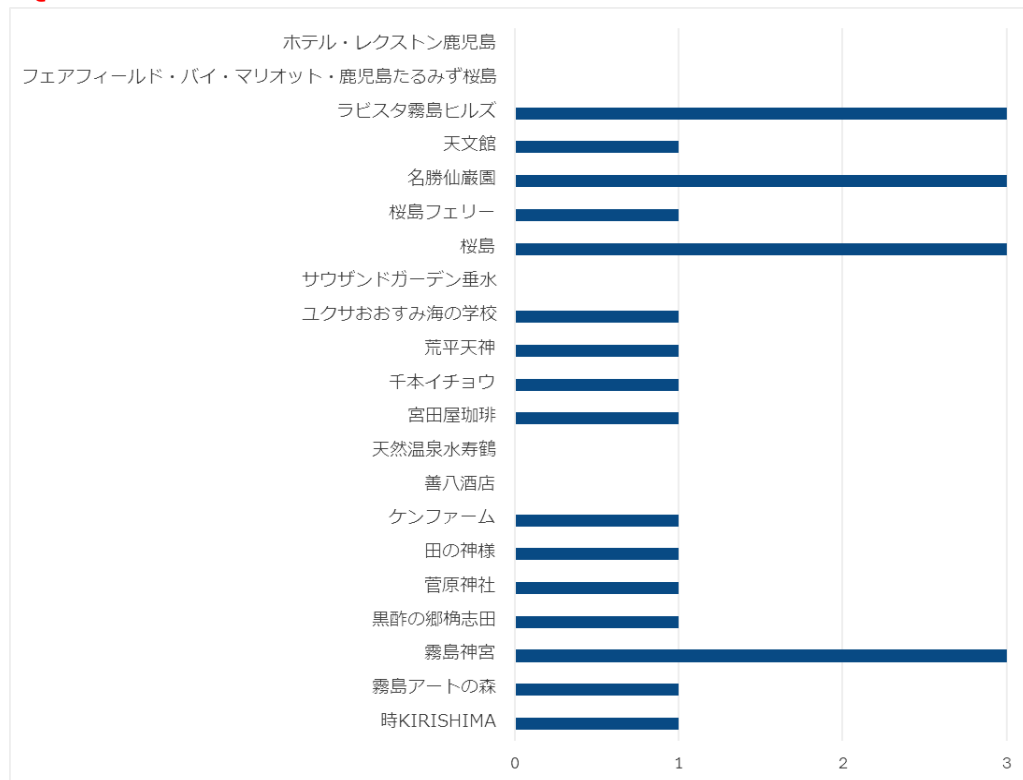


■ アンケート集約（韓国）

Q1) FAMトリップツアーの満足度



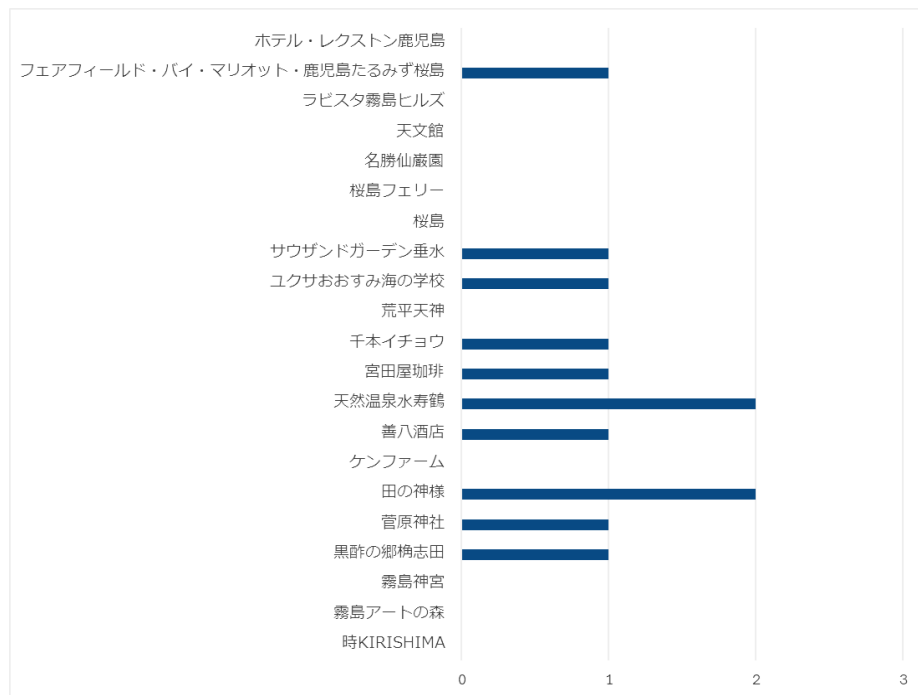
Q2) 面白かったスポット（複数選択可）



Q3) 面白かったと感じた理由

- ・歴史的なコンテンツが含まれているところで興味を持ちました。そして韓国で見られない大自然がとても感動的でした。
- ・山と海を見ながら食事をして、活火山と大自然を見ながら自転車に乗って、現地のおいしい食べ物を味わい、日常のストレスを吹き飛ばし、癒される旅行を体験できました。特に桜島の活火山が一番近く見られた展望台及び桜島でのサイクリングは一番インパクトのあるものでした。
- ・霧島・桜島の雄大な自然を感じられ、サイクルツアーにも活用できるスポットだと実感しました。

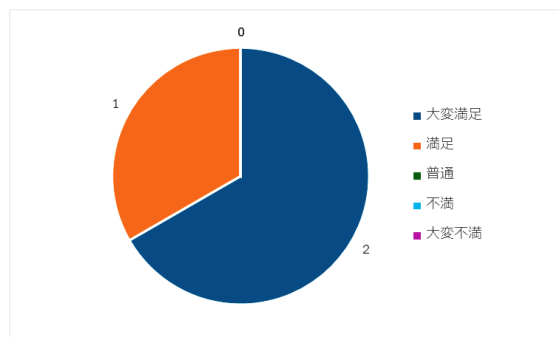
Q4) 面白くなかったスポット（複数選択可）



Q5) 面白くなかったと感じた理由と考えられる改善点

- ・大きな木や畑の神々は、日本の他地域でもよく見られるもので鹿児島ならではのではありません。韓国人の観点から神社は不快な気分になる可能性があります。（すべての神社がそうではありませんが、戦争犯罪に関与した人物がいる神社参拝に対する軽蔑があります。）西郷隆盛も近代の日本を作った偉大な人物の一人ですが、定韓論者という評価があって嫌いな人もいます。
- ・ユクサおおすみ海の学校は自分で料理をしたり、キャンプをしたりと楽しそうで景色も素敵でしたが、シャワーのみの不便さや野性的な環境は一般の観光旅行者のニーズには合致しない感じを受けました。サウザンドガーデン垂水も個人的には本当に素敵だと思いましたが、交通手段や周りの環境（コンビニがない）などを考えると、商品化するには難しいと思いました。
- ・田の神様や天然温泉水寿鶴は、その地域のストーリーを知った上で訪問すると面白いと思いますが、多くの観光客、サイクル客はその魅力まで感じることは難しいと思いました。

Q6) ライドの満足度



Q7) ライドの感想

- ・桜島のコースはとても良かったです。電動自転車なので、もっと挑戦的なコースも楽しみです。安全のためにしばしば停車と確認は必須ですが、もっとライディングに集中できるようにライディングのインターバルがもっと長くあるべきです。
- ・専門的なガイドの案内を受けながら、普段とは違う専用自転車に乗って、山や海など自然を満喫しながら自動車では感じられなかった地域のあちこちを見ることができ、少しでも現地人になった気分を感じることができて楽しかったです。
- ・平地が多く距離もちょうど良かったと思います。特に桜島は車も少なく、海と桜島両方の風景を楽しみながらライドできる点はとても魅力的だと思いました。

Q8) 今後商品造成するにあたり、鹿児島県に滞在する適正旅行日数を教えてください

2泊3日または3泊4日

Q9) 今後商品造成するにあたり、販売する場合の適正金額を教えてください

目安として3泊4日で8~13万円 韓国人の注目を集めるには、まずは安い商品を企画することが大事だと思います。

Q10) プログラム内容の母国での興味度を示してください（10段階評価）

7.33

平均評価



Q11) 今回滞在した南薩エリアの魅力について、感じたことを教えてください

- ・錦江湾の自然を走り、鹿児島歴史を走るという魅力が際立っています。今回のFAMトリップツアーを通じて、鹿児島が近代日本を作った中核都市であることがわかりました。地方都市で松山、宮崎、和歌山、名古屋、長野などと同等とされるには残念だと感じました。
- ・火山でできたカルデラ湖という点が本当に不思議で、自然の偉大さを目で感じられるという点が一番魅力的に感じました。新鮮な食べ物など、お客様に十分魅力を感じていただけたと思いました。
- ・霧島市は霧島連山と温泉地という確実なアピールポイントで食事も美味しかったので観光客にとっても魅力のあると感じました。

Q12) 今回滞在した南薩エリアの残念なポイントについて、感じたことを教えてください

- ・自転車で走るには思ったよりも交通量が多かったです。また山岳コースは閉じ込められている感じで視野の開放感がなく、アップダウンが多くてかなり大変なコースと感じました。
- ・自然がとても綺麗なおとこだと感じましたが、それに比べて便宜施設(コンビニ、食堂等)が少ない点が少し惜しかったです。
- ・垂水は霧島に比べて魅力が少ない気がしました。桜島が見える海沿いの町というところは魅力的ですが、桜島に直接入ることもできるので、垂水ならではのコンテンツがあったらより良いのではないかと思います。

■意見集約

【サイクルルート】

- ・景色が良いので自転車に乗る人には良いルートである。
- ・長い時間は難しいかもしれないが、2～3時間程度のルートがあっても良い。

【サイクルサービス】

- ・自転車で走った証拠(ステッカーなど)が欲しい。
- ・記念品や商品券、割引のような特典が欲しい。

【旅行観点】

- ・FITが増えており、交通+宿泊のみの取り扱いが多い。
- ・若い旅行者が多く、交通の便が良いところを選ぶ傾向にある。(福岡が中心になっている)
- ・韓国は自分の自転車を持って来る。
- ・韓国人からすると砂蒸しのイメージが強い。
- ・交通の便が悪いイメージを持っているので、お客様の足(シャトルバス)を設定してあげると良い。
- ・値段の次に求められるものはホテルネームバリューであり、ホテル名を聞いて知っている施設だと刺さりやすい。
- ・コンテンツが足りない印象を受けた。(指宿砂蒸しのようなキラーコンテンツが必要である)
- ・旅行会社に鹿児島を売ってもらうための手段が必要である。(そもそも鹿児島を知らないことが一番の要因である)
- ・鹿児島を知らないで、まずは安くすることである。(行政補助金の投入など検討する)
- ・旅行先で何ができるかではなく、まずは値段重視である。
- ・旅行先での交通手段がよく分からないため、タクシー予約など手段があれば良い。
- ・8～9万円の3泊4日の鹿児島募集ツアーを作っているが集まらない。(国際線込み)
- ・東京・大阪・福岡は行き飽きて、最近では松山が人気である。
- ・松山が人気の理由は、支援金があり、無料で空港から松山市へのシャトルバスがある。
- ・猿ヶ城溪谷の景色は良かったものの、キャンプ的な素材は旅行商品として作りづらい。

【ターゲット】

- ・韓国はインスタグラムの活用が多いため、鹿児島のイベント情報などを発信すべきである。
- ・自転車にいくらお金がかかっても最高の体験をしたい層はいるが、一般的には自転車を目的に訪日する人はまだまだ少ない。



■FAMトリップツアー 所感

台湾と韓国の旅行会社を招聘して、FAMトリップツアーを実施した。共通して求められることは以下の通りである。

多種多様なバイクの用意
地域ならではのコンテンツの充実
サイクリングレベルに応じたルート設定
ルート走破の記念品や特典の用意
宿泊拠点周辺の夜の楽しみ方

また、国ごとのニーズを以下の通り、整理する。

(台湾)

サポートスタッフやサイクルガイドの伴走支援
リピーター化させるような景品や特典の用意
宿泊施設のハード整備
SNS写真映え

(韓国)

ショートコースの設定
送迎サービスの提供
旅行代金の補助制度
鹿児島の情報発信、プロモーション

ハード整備や予算のかかるものについては即実行が難しいため、何から改善着手していくのか優先順位をつけて取り組む必要があるだろう。

また今回招聘した各国旅行会社とは、将来的な旅行商品化を目指し、今後も関係維持しておく必要がある。

■ 既存ページの改修

鹿児島県の要望に応じて、以下の通り改修を行った。

① トップページのビジュアル刷新（各地域の10画像をスライドショーで展開）



今こそ自転車旅！絶景かごしまサイクル

南北600kmと長い鹿児島県では、エリアによってさまざまな表情を見られるのが魅力。この特集では、地元のサイクリストが実際に走って選んだおすすめルートを、周辺の見どころとともに紹介します。サイクリングに必要なルートのアップダウンや休憩＆宿泊施設などのサポート情報はもちろん、鹿児島らしいフォトジェニックな絶景ポイントまで詳しく解説！旅のテーマや一緒に行くメンバーに合わせてルートを選び、安心安全で楽しい自転車旅を満喫しましょう。

INDEX

魅力いっぱい！かごしまサイクルツーリズムとは

どのルートを選ぶ？！おすすめサイクルルート

サイクリング旅行商品「サイクリングアイランド九州」販売中

サイクリングデザインフォメーション

県内のサイクルイベント



今こそ自転車旅！絶景かごしまサイクル

鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会では、市町村や幅広い関係者が連携し、鹿児島の豊かな地域資源を生かしたモデルルートの設定や誰もが安心してサイクルツーリズムを楽しめるよう受入環境整備などを進めています。この特集では、地元のサイクリストが実際に走って選んだおすすめルートを、周辺の見どころとともに紹介します。サイクリングに必要なルートのアップダウンや休憩＆宿泊施設などのサポート情報はもちろん、鹿児島らしいフォトジェニックな絶景ポイントまで詳しく解説！旅のテーマや一緒に行くメンバーに合わせてルートを選び、安心安全で楽しい自転車旅を満喫しましょう。

INDEX

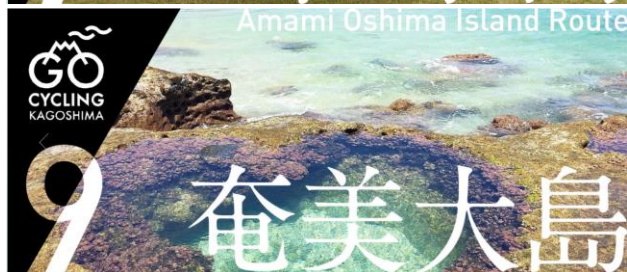
どのルートを選ぶ？！おすすめサイクルルート

サイクリング旅行商品「サイクリングアイランド九州」販売中

サイクリングデザインフォメーション

県内のサイクルイベント





②県全体のルートが一目でわかるマップの掲載

魅力いっぱい！かごしまサイクルツーリズムとは



鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会では、市町村や幅広い関係者が連携し、鹿児島県の豊かな地域資源を生かしたモデルルートの設定や様々な魅力が安心してサイクルツーリズムを楽しめるよう受入環境整備などを進めています。

一年を通してあたたかい南国かごしまは、サイクルツーリズムにぴったりの土地。美しい自然、歴史や文化、温泉、本格グルメなどかごしまの魅力や自転車を自転車で寄り添いながらたっぷり堪能してください。コンビニエンスストアや食事処が少ないエリアもありますので、事前に休憩スポットを確認し計画的なサイクル旅にしましょう。

どのルートを守る？！おすすめサイクルルート



薩摩藩が誇る歴史と戦国文化が楽しめる！南薩ルート

「サイクリングターミナルりんりん」をスタート・ゴールとするルート。鹿児島県、日置市、鹿屋市、国府（いしずか）市、南九州市、枕崎市、それぞれの特徴的な風景を次々に楽しめます。リアス式の海岸線を背に沈みゆく夕日が美しい屋久島、さらには桜島、間諜（かいもん）島が海に立つ瀬戸内海の美しさが絶景です。温泉旅館や温泉地、城跡、戦艦博物館と魅力に満ちたエリアです。



日本の原風景を守る！北薩ルート

熊本県との国境に位置する北薩は、懐かしい里山の風景や風光明媚な温泉が楽しめる場所。自給自足の暮らしが感じられる海軍基地では、新シナ海に沈むオレンジ色の夕日に癒されます。海の幸の味が豊かな北薩地域のご当地グルメも楽しみましょう！

人気記事ランキング



鹿児島県内サイクルマップ



▶ 各ルートの詳細は、以下のリンクからご確認いただけます。

- [南薩ルート\(南薩エリア\)](#)
- [北薩ルート\(北薩エリア\)](#)
- [川内川流域ルート\(北薩エリア\)](#)
- [薩島・給良ルート\(薩島・給良エリア\)](#)
- [大隅ルート\(大隅エリア\)](#)
- [薩江湾内ルート](#)
- [種子島ルート\(種子島エリア\)](#)
- [屋久島ルート\(屋久島エリア\)](#)
- [奄美大島ルート\(奄美大島エリア\)](#)
- [喜界島ルート\(喜界島エリア\)](#)
- [徳之島ルート\(徳之島エリア\)](#)
- [沖永良部島ルート\(大島エリア\)](#)
- [与論島ルート\(大島エリア\)](#)
- [九州・沖縄・山口一周ルート](#)

▶ 魅力いっぱい！かごしまサイクルツーリズムとは

鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会では、市町村や幅広い関係者が連携し、鹿児島県の豊かな地域資源を生かしたモデルルートの設定や様々な魅力が安心してサイクルツーリズムを楽しめるよう受入環境整備などを進めています。この特集では、地元のサイクリストが実際に走って選んだおすすめのルートを、周辺の見どころとともに紹介します。サイクリングに必要なルートのアップダウンや休憩・宿泊施設などのサポート情報はもちろん、鹿児島らしいフォトジェニックな絶景ポイントまで詳しく解説！旅のテーマや一緒に行くメンバーに合わせてルートを選び、安心安全で楽しい自転車旅を満喫しましょう。

人気記事ランキング

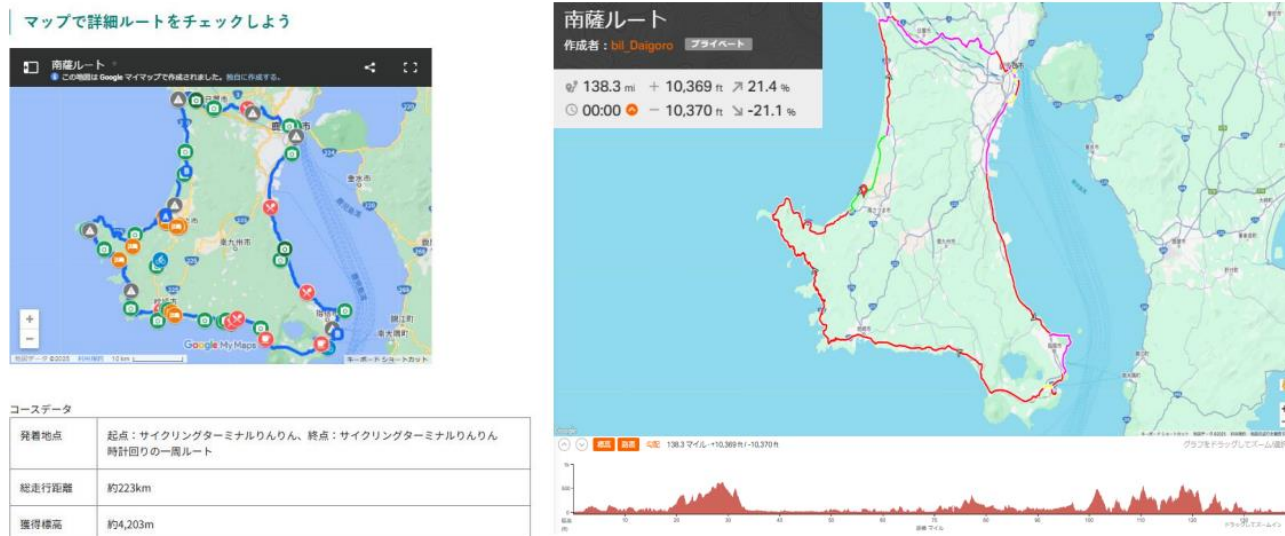


3. 県観光サイト内サイクルツーリズム特集ページの運営

47

③各ルートの既存Google my mapに加えて、新規Ride with GPSの掲載

※以下、南薩ルートの抜粋



④サイクルステーションならびにサイクリストに優しい宿情報の階層アップと表示の改修

休憩施設・宿・レンタサイクル



▶かごしまサイクルステーション

かごしまサイクルステーションでは、サイクルラック・空気入れ・トイレ利用、水分補給などのサービスが御利用いただけます。該当施設は各ルートページのグーグルマップをご覧ください。

[鹿児島県ホームページ](#) →



▶サイクリストに優しい宿

サイクリストに優しい宿とは、サイクリストが安心して宿泊できるサービス（自転車の屋内保管、荷物の預かり、洗濯）を提供している宿泊施設です。

[鹿児島県ホームページ](#) →



▶県内レンタサイクルショップ

県内には各地にレンタサイクルショップがあり、絶景や観光スポットを気軽に巡れます。初心者から上級者向けまでコースも多彩。自転車なら移動もスムーズで、ご当地グルメを楽しみながら観光できるのも魅力です。

[一覧](#) →

[サイクリングに出かけよう！](#) →

[自転車であつと“カゴシマ”](#) →

⑤ サイクルステーション・サイクリストに優しい宿・レンタサイクルショップリストの掲載

かごしまサイクルステーション登録施設 一覧 (令和6年12月時点)

No.	施設名	住所
1	Well be club	始良市東餅田1181
2	蓬の郷	志布志市有明町蓬原351番地3
3	ダグリ 畔遊園地	志布志市志布志町夏井211-2
4	道の駅たるみずはまびら	奄美市浜平2036番地6
5	桜島ビジターセンター	鹿児島市桜島横山町1722-29
6	南大隅町観光交流物産館 なんとん市場	肝属郡南大隅町根古川南718-38
7	本坊酒造株式会社 マルス津貫蒸溜所	南さつま市加世田津貫6394
8	笠沙地区総合センターいどこい	南さつま市笠沙町片瀬14895
9	鹿児島空港	鹿児島市溝辺町麓822番地
10	道の駅山川港漁お海道	指宿市山川金生町1-10
11	タビトノホ奄美 (ビッグツーツ奄美店内)	大島郡龍郷町中勝580
12	道の駅たるみず湯つり館	奄美市牛根蔵1038-1
13	砂楽し会館 砂楽	指宿市湯の浜五丁目25番18号
14	吹上浜海浜公園	南さつま市加世田高橋1906-2
15	志布志市総合観光案内所	志布志市志布志町志布志2-28-11 (13志布志駅金内)
16	串良さくら温泉	鹿屋市串良町上小原3948-1
17	焼肉次郎長	南さつま市柏津町泊8840-1
18	ファミリーマート大隅吾平店	鹿屋市吾平町麓180-1
19	オートショップナカノ	南さつま市加世田武田15358

鹿児島県サイクリストに優しい宿 一覧 (令和6年12月時点)

No.	宿泊施設名	住所
1	氏宿 磯の家	薩摩川内市港町1394-3
2	アイライクホテル鹿児島	始良市東餅田399-2
3	日新館	南さつま市加世田村原1丁目9-16
4	フォンタナの丘かもう	始良市誕生町久末434-1
5	ヴィラゆりむん	大島郡龍郷町芦徳508-1
6	プリシアリゾートヨロン	大島郡与論町立長358-1
7	短久島シェアホテルみなと	熊毛郡短久島町宮之浦278-2
8	短久島サウスビレッジ	熊毛郡短久島町平内258-24
9	BEACH HOUSE OHAMA	出水郡長島町蔵之元831番地
10	Cliff top Terrace	出水郡長島町指江1373-5
11	ホテル太平温泉	鹿屋市新生町5-25
12	志布志の宿 すず風	志布志市有明町蓬原4100-5
13	村田旅館	南さつま市加世田唐人原5640
14	ホテルグレイン鹿児島	鹿児島市柏津町5番20号
15	志布志の宿 きたの	志布志市志布志町志布志3-22-3
16	ビジネスホテルしぶし湾	志布志市志布志町志布志2-9-24
17	ホテルこばやし	鹿屋市向江町4-15
18	ホテルセントロ志布志	志布志市志布志町志布志3-25-18
19	国民宿舎ベルベリアダグリ	志布志市志布志町夏井203番地

県内レンタサイクルショップ 一覧 (令和6年12月時点)

No.	施設名	住所
1	鹿児島県自然公園	薩摩川内市部留町豊年田999-2
2	観光観光交流施設 きやっちゃんせ南さつま	南さつま市加世田本町43-9
3	鹿児島でレンタサイクル！BIKE&REP KIRISHIMA	鹿児島市露島田12459-6
4	鹿児島県レンタサイクル「JOKARIN」	出水市上瀬田715-16 (黒出水駅内)
5	「E-BIKE」レンタサイクル	桜島横山町1722-16
6	鹿児島県立吹上浜海浜公園	南さつま市加世田津貫1936-2
7	サイクリングターミナル「りんりん」	南さつま市加世田津貫1952番地2
8	鹿児島チャリンゴ屋	鹿児島市桜(町)中990-2
9	鹿児島空港レンタサイクル	鹿児島市溝辺町麓832
10	奄美市観光協会レンタサイクル	奄美市上町114番地
11	肥後県観光協会レンタサイクル	河久根市栄町
12	桜島観光協会レンタサイクル	桜島市栄本町200
13	鹿児島市観光協会レンタサイクル	鹿児島市市川に複数のサイクルポートを整備
14	鹿児島県観光協会レンタサイクル	国民宿舎レインボー館長：桜島横山町1722-16 桜島ビジターセンター：桜島横山町1722-29
15	特選サイクリング	南さつま市柏津町339426
16	あいらレンタサイクル	・始良市観光案内所：始良市東餅田2445-7 ・アイライクホテル鹿児島：始良市東餅田399番地2 ・南大隅町観光交流センター：誕生町上久保2306-1
17	獅子島レンタサイクル (南市港)	http://joshima.com/holiday_page/150/shishijima/
18	でるっとイビDE-Bike	出水郡長島町獅子島1400

⑥ サイクルステーション・サイクリストに優しい宿・レンタサイクルショップリストのマップ上のピン留め表示



関連資料

かごしまサイクルステーション一覧

鹿児島県サイクリストに優しい宿一覧

県内レンタサイクルショップ一覧

■ 県観光サイト内サイクルツーリズム特集ページの運営 所感

今年度事業では、県観光サイト「かごしまの旅」内のサイクル特集ページ（日本語）の一部改修を行った。今後インバウンドターゲットにも訴求できるよう、多言語ページの改修も必要である。

また求められる情報のアップデート等、継続的なページメンテナンスを行わなければならない。

4. サイクルステーション及びサイクリストに優しい宿登録施設に配布する 物品作成

49

■制作物

「かごしまサイクルステーション」申請者用
「サイクリストに優しい宿」申請者用

※対象：鹿児島県内の道の駅、観光施設、飲食店等

※対象：鹿児島県内のホテル、旅館、民宿等の宿泊施設

①のぼり旗（600×1800）

発注数	オレンジ	60枚
	緑	60枚
計		120枚



②ステッカー（86×127）

「かごしまサイクルステーション」

発注数	オレンジ	30枚
	緑	30枚
計		60枚



「サイクリストに優しい宿」

発注数	オレンジ	30枚
	緑	30枚
計		60枚



4. サイクステーション及びサイクリストに優しい宿登録施設に配布する物品作成

50

■サイクステーション及びサイクリストに優しい宿新規登録拡充

サイクステーション等整備支援事業費補助金申請者リストと全国旅行支援事業者リストを整理し、計119件の施設事業者にアプローチした。

その内、今年度事業内で新規登録完了した施設は以下の通りである。

サイクステーション 7件

砂蒸し会館 砂楽
吹上浜海浜公園
志布志市総合観光案内所
串良さくら温泉
焼肉次郎長
ファミリーマート大隅吾平店
オートショップナカノ

※施設業態

観光施設	3件
飲食店	1件
コンビニエンスストア	1件
温泉施設	1件
自転車販売店	1件

サイクリストに優しい宿 13件

屋久島シェアホステルみなと
屋久島サウスビレッジ
BEACH HOUSE OHAMA
Cliff top Terrace
ホテル太平温泉
志布志の宿 すず風
村田旅館
ホテルゲートイン鹿児島
志布志の宿 きたの
ビジネスホテルしぶし湾
ホテルこばやし
ホテルセントロ志布志
国民宿舎ボルベリアダグリ

※施設業態

簡易宿泊所	6件
ホテル	4件
旅館	3件

■サイクステーション及びサイクリストに優しい宿新規登録拡充 所感

現在の登録施設は地域によって偏りがあるため、継続的なアプローチから県内一円バランスよく登録を促していくことが理想である。

■セグメント別調査

以下の目的を持って、セグメント別アンケート結果の分析を行った。

1. ターゲット層のニーズの把握

回答者をマーケットごとにセグメント分けすることで、それぞれのグループが持つニーズや課題を探る。

2. データ分析の精度向上

全体の平均だけでは見えない傾向や特徴を分析する。

3. 効果的な意思決定

セグメント別の結果を基に、特定のターゲット層に合わせた戦略や施策を立てるヒントを探る。

4. リソース配分の最適化

各セグメントの優先度を把握することで、リソース（時間、予算、人員）を効率良く配分するヒントにする。

5. 課題や問題点の特定

特定のセグメントでネガティブな回答が多い場合、その原因を調査し、解決に向けたヒントを探る。

6. パーソナライズの強化

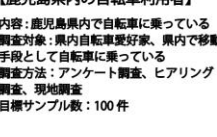
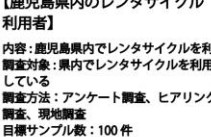
セグメントごとの特性に応じて、商品やサービス、コミュニケーションをカスタマイズでき、顧客満足度の向上を図る。

7. 予測やトレンド分析が可能

過去のアンケート結果をセグメント別に分析することで、将来の傾向やニーズを予測する。

アンケート調査の結果、合計516件の回答を得た。

- ・国内拠点型：131件
- ・国内周遊型：201件
- ・海外拠点型：122件
- ・海外周遊型：62件

	拠点型	周遊型	レンタサイクル
海外	【ガイド付きサイクリングを楽しむ海外旅行者】 内容：3時間～4時間ほどのショートサイクリング 調査対象：Bike is Life のプログラム参加者 調査方法：アンケート調査、ヒアリング調査、現地調査 目標サンプル数：50件 	【ガイド付き1日～1ヶ月巡る海外サイクリスト】 内容：80km～120kmほど、日帰りから宿泊をするサイクリング 調査対象：実際に日本を走った、プログラム参加者 調査方法：アンケート調査、ヒアリング調査 目標サンプル数：20件 	【レンタサイクルを利用してサイクリングをする海外旅行者】 内容：自由にサイクリング 調査対象：サイクリングを目的に訪れる海外旅行者 調査方法：Bike is Life レンタサイクル利用者へのアンケート、ヒアリング調査 目標サンプル数：50件 
国内	【ガイド付きサイクリングを楽しむ国内旅行者】 内容：3時間～4時間ほどのショートサイクリング 調査対象：Bike is Life のプログラム参加者 調査方法：アンケート調査、ヒアリング調査、現地調査 目標サンプル数：100件 	【ガイド付き1日～1ヶ月巡る国内サイクリスト】 内容：80km～120kmほど、日帰りから宿泊をするサイクリング 調査対象：実際に日本を走った、プログラム参加者 調査方法：アンケート調査、ヒアリング調査 目標サンプル数：50件 	【レンタサイクルを利用してサイクリングをする国内旅行者】 内容：自由にサイクリング 調査対象：サイクリングを目的に訪れる国内旅行者 調査方法：Bike is Life レンタサイクル利用者へのアンケート、ヒアリング調査 目標サンプル数：50件 
鹿児島県内	【鹿児島県内の自転車利用者】 内容：鹿児島県内で自転車に乗っている 調査対象：県内自転車愛好家、県内で移動手段として自転車に乗っている 調査方法：アンケート調査、ヒアリング調査、現地調査 目標サンプル数：100件 		【鹿児島県内のレンタサイクル利用者】 内容：鹿児島県内でレンタサイクルを利用 調査対象：県内でレンタサイクルを利用している 調査方法：アンケート調査、ヒアリング調査、現地調査 目標サンプル数：100件 

■アンケート項目

アンケートの設問項目は、以下の通りである。

【基本情報】

- 1)居住地
- 2)年代
- 3)性別

【サイクリングについて】

- 4)鹿児島県でサイクリングをした事がありますか？
- 5)鹿児島県滞在中にいくらお金を使いましたか？（宿泊費は除く）
- 6)鹿児島には何泊しましたか？
- 7)宿泊にはいくら使いましたか？
- 8)鹿児島県内をサイクリングした際、自転車はどうしましたか？
- 9)鹿児島県で走ってみたいルート、立ち寄ってみたい観光スポットはありますか？

【レンタサイクルについて】

- 10)鹿児島県内を旅行中に、レンタサイクルを利用した事がありますか？
- 11)利用形態（このような利用をしてみたい）について教えてください。

【サイクリングツアーについて】

- 12)ガイド付きサイクリングツアーに参加したことはありますか？
- 13)ガイド付きサイクリングツアー(3時間・レンタサイクル付き・食事無し・おやつ有り)に参加するとしたらご予算は幾らですか？(1人当たりの額)

【鹿児島県の取り組み】

- 14)鹿児島県がサイクルツーリズムに力を入れていることを知っていましたか？
- 15)鹿児島県内で開催される参加してみたいサイクルイベントはありますか？（複数回答可）

■セグメント別分析 全体要約

1. 調査概要

本調査は、鹿児島県のサイクルツーリズムの現状を把握し、観光振興策の改善に活用することを目的に実施した。国内外のサイクリストおよび一般観光客を対象に、アンケートを通じて利用動向や課題を分析した。

2. 主な課題と対策

(1) 認知度の低さ

課題：サイクリング経験者が少なく、県内外での認知度が低い。

対策：SNSや観光ポータルサイトでの情報発信を強化し、初心者向けイベントを開催する。

(2) 経済波及効果の限定性

課題：サイクリング中の消費額が低く、宿泊・飲食・観光施設との連携が不足している。

対策：地元飲食店や観光施設と提携し、消費を促す仕組みを導入する。

(3) 宿泊型観光の未発達

課題：多くの利用者が日帰りで、宿泊を伴う観光が少ない。

対策：「サイクリング+温泉」「サイクリング+グルメ」などのサイクリング商品を造成する。

(4) レンタサイクルの利用率

課題：認知度が低く、サービスの利便性が不十分である。

対策：電動アシスト自転車の導入、主要駅・観光地での貸出拠点の拡充を図る。

(5) インバウンド向けサービスの不足

課題：海外からのサイクリストに対する多言語対応や高額消費層向けサービスが不足している。

対策：多言語対応の強化、高品質なレンタサイクルや専属ガイド付きツアーを提供する。

3. 今後の展開

- ・初心者・観光客向け：短距離ルート整備、体験イベント開催
- ・地域経済との連携：飲食・観光施設との連携を強化し、経済効果を拡大
- ・宿泊型サイクリングの推進：温泉・グルメ・文化体験と組み合わせたプラン開発
- ・インバウンド対応強化：多言語情報の発信、プレミアムツアーの展開
- ・交通・レンタサイクルの利便性向上：駅・空港でのレンタサイクル整備、観光パス導入

本調査結果をもとに、鹿児島県のサイクルツーリズムの発展を促進し、地域活性化を目指す。

■セグメント別分析 国内拠点型要約

1. 調査概要

国内拠点型サイクリングは、特定の観光地を拠点に、半日～1日で10～20km程度を巡るスタイルが基本である。本調査は、鹿児島県におけるサイクルツーリズムの現状を把握し、観光振興策の改善に活用することを目的に実施した。対象は国内観光客で、サイクリング経験、消費動向、宿泊状況、レンタサイクルの利用実態などを分析した。

【調査結果の概要】

- ・回答者131名のうち、鹿児島県でのサイクリング経験者は15名のみ。
- ・滞在中消費額が「0円」(12名)や「5,000円以下」(1名)と低く、地域経済への貢献が限定的。
- ・宿泊を伴う利用者は1名のみ、大半が日帰り観光。
- ・レンタサイクルの利用は少なく、自転車持ち込みが主流。

2. 主な課題と対策

(1) 認知度の低さ

課題：サイクリング経験者が少なく、一般観光客への認知度が低い。

対策：SNSや観光ポータルサイトでの情報発信を強化し、初心者向けツアーをPRする。

(2) 経済波及効果の低さ

課題：サイクリング中の消費が少なく、地元経済への影響が限定的である。

対策：地元飲食店や観光施設と提携し、立ち寄りスポットを増やす。

(3) 宿泊型観光の未発達

課題：日帰り利用が中心で、宿泊を伴うサイクリング旅行が普及していない。

対策：「サイクリング+温泉」「サイクリング+グルメ」などの宿泊プランを造成し、滞在時間を延長させる。

(4) レンタサイクル利用の低迷

課題：主要駅や観光地での貸出拠点が不足し、観光客向けのサービスが整っていない。

対策：E-bikeの導入、貸出・返却拠点の拡大で利便性の向上を図る。

3. 今後の展望

(1) 初心者向け環境整備

- ・短距離ルートの整備や、電動アシスト自転車の導入で初心者に参加しやすい環境を構築。
- ・体験型イベントを定期開催し、サイクリングの魅力を訴求。

(2) 地域経済との連携強化

- ・地元飲食店や特産品販売、観光施設との提携を強化し、観光客の消費を促進。

(3) 宿泊型サイクリング観光の推進

- ・観光資源と連携し、宿泊を伴うプランを造成。

(4) レンタサイクルサービスの充実

- ・E-bikeを導入し、主要駅や観光地での貸出・返却拠点を増やし、観光客の利便性を向上。

(5) 認知度向上とプロモーション

- ・SNSや旅行メディアでの情報発信を強化し、県外・海外市場への認知を拡大。
- ・インフルエンサーやYouTuberと連携し、サイクリングの魅力を発信。

国内拠点型サイクルツーリズムの活性化には、初心者向け環境の整備、地域経済との連携、宿泊プランの拡充、レンタサイクルの強化が必要である。観光客に鹿児島のサイクリングの魅力を伝え、地域の経済効果を高める施策が求められる。

■セグメント別分析 国内周遊型要約

1. 調査概要

国内周遊型サイクリングは、自転車愛好家（サイクリスト）が1日に80～100km程度を走行し、広範囲を巡る観光スタイルが基本である。本調査は、鹿児島県内での周遊型サイクリングの実態を把握し、観光振興策の改善に活用することを目的に実施した。対象は国内のサイクリストで、利用状況、消費動向、宿泊状況、レンタサイクルの利用実態などを分析した。

【調査結果の概要】

- ・回答者201名のうち、鹿児島県でのサイクリング経験者は多数だが、消費額が低い傾向。
- ・宿泊を伴う利用者は少なく、日帰り利用が101名と過半数を占める。
- ・宿泊費が「0円」の回答者が66%を占め、宿泊観光の促進が課題。
- ・レンタサイクルの利用は16名のみで、大半が自転車を持ち込んでいる。

2. 主な課題と対策

(1) サイクリング中の消費額の低さ

課題：サイクリング中の飲食や観光体験の消費が少なく、地元経済への波及効果が限定的である。

対策：地元の飲食店や観光施設と連携し、サイクリング中に立ち寄れるスポットを増やす。

(2) 宿泊型観光の未発達

課題：日帰り利用が主流で、宿泊を伴うサイクリング旅行が少ない。

対策：「サイクリング+温泉」などの宿泊プランを造成する。

(3) レンタサイクル利用の低迷

課題：自転車を持ち込むサイクリストが多く、レンタサイクルの利用が進んでいない。

対策：スポーツバイクやE-bikeのレンタルを拡充し、観光目的の利用を促進する。

(4) 高消費層への対応不足

課題：全体の33%が1万円以上消費する意向があるが、高付加価値サービスが不足している。

対策：プロのガイド付きプレミアムツアーなどを提供する。

3. 今後の展望

(1) サイクリング中の経済波及効果の向上

・立ち寄りスポットを増やし、地元グルメ・観光体験を組み込んだルートを開発。

・サイクリスト向けの限定特典（割引、地元特産品プレゼントなど）を設定。

(2) 宿泊型サイクリング観光の推進

・「サイクリング+温泉」「サイクリング+地元グルメ」などのテーマ別宿泊プランを造成。

・自転車持ち込み歓迎の宿泊施設（サイクリストに優しい宿）を増やし、専用設備（バイクラック、メンテナンスエリア）を整備。

(3) レンタサイクルの利便性向上

・スポーツタイプのレンタサイクルやスポーツタイプのE-bikeの導入を拡大し、観光サイクリストでも利用しやすい環境を整備、主要観光地・駅・空港での貸出・返却を可能にし、利便性を向上。

(4) 高価格帯ツアーの展開

・高価格帯（1万円以上）のサイクリングツアーを造成し、特別体験（高級食事付きツアー、絶景スポット巡りなど）を提供。

・海外市場も視野に入れ、インバウンド向けのプレミアムツアーを展開。

(5) 認知度向上とプロモーション強化

・SNS・観光ポータルサイトでの情報発信を強化し、鹿児島県のサイクルツーリズムを広くPR。

国内周遊型サイクルツーリズムの発展には、サイクリング中の経済効果向上、宿泊型プランの推進、レンタサイクルの利便性向上、高価格帯ツアーの展開が必要である。鹿児島の魅力を活かした観光資源との連携を深め、より多くのサイクリストを惹きつける施策が求められる。

■セグメント別分析 国内レンタサイクル要約

1. 調査概要

本調査は、鹿児島県内のレンタサイクル利用状況を把握し、観光振興および利用促進のための課題と対策を検討することを目的に実施した。対象は国内の観光客およびサイクリストで、レンタサイクルの利用実態、認知度、利便性、観光資源との連携状況などを分析した。

【調査結果の概要】

- ・回答者332名のうち、レンタサイクルを利用したことがあるのは15名、利用してみたいと考えているのは19名。
- ・大多数（97名）は利用経験も利用意向もなく、レンタサイクルの認知度が低い。
- ・家族やグループでの利用ニーズはあるが、対応するサービスが不足。
- ・観光目的での利用イメージが湧かず、レンタサイクルと観光ルートの連携が不十分。

2. 主な課題と対策

(1) 認知度の低さ

課題：レンタサイクルの存在や利用方法が十分に認知されておらず、観光客の利用意欲が低い。

対策：SNS・観光サイト・旅行代理店を活用し、レンタサイクル利用方法や魅力を積極的にPRする。

(2) 観光地との連携不足

課題：観光地とレンタサイクルの連携が不十分である。

対策：観光地を巡るサイクリングマップを作成し、ルート上に立ち寄れる観光スポットを明示する。

(3) 初心者・ライトユーザー向けのサービス不足

課題：サイクリング初心者や家族連れが気軽に利用できるサービスが不足している。

対策：電動アシスト自転車の導入や、初心者向けの短時間・短距離ルートを整備し、安心して利用できる環境を提供する。

(4) レンタル拠点の不足と利便性の低さ

課題：主要駅・空港・観光地にレンタル拠点が少なく、利用者の利便性が低い。

対策：主要観光地・駅・空港にレンタル拠点を設置し、貸出・返却がスムーズにできるワンウェイレンタルシステムを導入する。

(5) プロモーション不足

課題：レンタサイクルを利用する具体的なイメージが湧かず、興味を持たれにくい。

対策：SNSや動画コンテンツを活用し、観光客がレンタサイクルを利用する楽しさを視覚的に伝えるプロモーションを展開する。

3. 今後の展望

(1) レンタサイクルの認知度向上と利用促進

- ・SNSや観光ポータルサイトでの情報発信を強化し、旅行者向けにレンタサイクルの魅力をPR。

(2) 観光地との連携強化

- ・サイクリングマップを作成し、初心者でも安心して楽しめるルートを提案。

(3) 初心者・家族向けサービスの充実

- ・電動アシスト自転車の導入を拡大し、家族向けに、子ども用自転車やタンデム自転車の導入を検討。

(4) レンタル拠点の拡充と利便性向上

- ・交通機関と連携し、セットプランを開発。

(5) プロモーション活動の強化

- ・SNSやYouTubeで、レンタサイクルを活用した観光の楽しさを発信。

国内レンタサイクルの利用促進には、認知度向上、観光との連携強化、初心者向けサービスの充実、レンタル拠点の拡充、プロモーション強化が不可欠である。誰でも気軽にレンタサイクルを利用できる環境を整備し、鹿児島の観光資源をより魅力的に活用する施策が求められる。

■セグメント別分析 海外拠点型要約

1. 調査概要

海外拠点型サイクリングとは、訪日外国人が観光地を拠点に、10～20km程度の距離を3時間から1日かけて巡る観光スタイルが基本である。本調査は、鹿児島県のサイクリング観光におけるインバウンド需要の現状を把握し、観光振興策の改善に活用することを目的に実施した。対象は訪日外国人で、サイクリング経験、消費動向、レンタサイクルの利用状況、言語対応の課題などを分析した。

【調査結果の概要】

- ・回答者122名のうち、鹿児島県でサイクリングをした外国人は6名と極めて少ない。
- ・他の地域でのサイクリング経験者（40名）と比較して、鹿児島の認知度が低い。
- ・レンタサイクルの利用者は多いが、予約手続きや案内の多言語対応が不十分。
- ・高額消費層（5万円以上の支出意向）が33%いるが、対応するサービスが不足。

2. 主な課題と対策

(1) 認知度の低さ

課題：鹿児島県がサイクリング目的地として認識されておらず、旅行計画に組み込まれていない。

対策：SNSや旅行メディアを活用し、鹿児島のサイクリングの魅力を海外向けに発信する。

(2) 多言語対応の不足

課題：レンタサイクルの予約手続きや案内が英語・中国語・韓国語などに対応しておらず、外国人旅行者が利用しにくい。

対策：多言語対応のガイドマップやアプリを開発し、観光案内所やレンタサイクル拠点に多言語対応スタッフを配置する。

(3) 高額消費層への対応不足

課題：5万円以上支出する高額消費層が一定数いるが、ラグジュアリー向けのサイクリングサービスが不足している。

対策：専属ガイド付きプライベートツアーや、高級宿泊施設と組み合わせたプレミアムサイクリングツアーを造成する。

(4) 観光資源との連携不足

課題：サイクリングと鹿児島の観光資源（温泉、桜島、屋久島など）が十分に組み合わせられていない。

対策：「サイクリング＋トレッキング」などの複合型ツアーを造成する。

3. 今後の展望

(1) 認知度向上とプロモーション強化

- ・SNSやYouTubeを活用し、鹿児島のサイクリングの魅力を映像や写真で海外向けに発信。
- ・海外の旅行博や観光イベントに出展し、鹿児島のサイクルツーリズムをPR。

(2) 多言語対応の充実

- ・サイクリングルート、レンタサイクル案内、観光ガイドを英語・中国語・韓国語などで提供。

(3) 高額消費層向けプレミアムサービスの展開

- ・高級宿泊施設と連携し、専属ガイド付きのサイクリングツアーを造成。

(4) サイクリングと観光資源の融合

- ・「桜島サイクリング＋地元グルメツアー」「屋久島サイクリング＋トレッキング」など、鹿児島県内の観光資源と連携したプランを展開。

(5) インバウンド向けレンタサイクルの強化

- ・主要観光地・空港・駅にレンタサイクル拠点を設置し、予約や支払いのキャッシュレス対応を強化。

海外拠点型サイクルツーリズムの活性化には、認知度向上、多言語対応の充実、高額消費層向けサービスの展開、観光資源との連携強化、インバウンド向けレンタサイクルの利便性向上が必要である。鹿児島の豊富な観光資源を活かし、外国人旅行者に魅力的なサイクリング体験を提供する施策が求められる。

■セグメント別分析 海外周遊型要約

1. 調査概要

海外周遊型サイクリングとは、訪日した自転車愛好家（サイクリスト）が1日に80～100km程度を走行し、広範囲の地域を巡る観光スタイルが基本である。中には宿泊を伴う長距離サイクリングを楽しむ層も含まれる。本調査は、鹿児島県における海外周遊型サイクルツーリズムの現状を把握し、インバウンド需要を取り込むための改善策を検討することを目的に実施した。対象は訪日外国人サイクリストで、利用状況、消費動向、宿泊実態、観光資源との連携などを分析した。

【調査結果の概要】

- ・回答者62名のうち、鹿児島県でのサイクリング経験者は4名のみで極めて少ない。
- ・消費額の分布に大きな差があり、5,000円程度の層から5万円以上の高額消費層まで幅広い。
- ・鹿児島での宿泊型サイクリングプランが不足。
- ・自転車を持ち込むサイクリストが圧倒的に多く、レンタサイクルの利用率が低い。

2. 主な課題と対策

(1) 鹿児島の認知度不足

課題：海外サイクリストにとって鹿児島は目的地として認識されておらず、情報発信が不足している。

対策：海外向けSNS・動画・観光プラットフォームを活用し、鹿児島サイクリングルートの魅力発信。

(2) 高額消費層への対応不足

課題：高額消費層が一定数いるものの、高品質サービスやプレミアムツアーが整備されていない。

対策：専属ガイド付きプレミアムツアーや、高級宿泊施設と組み合わせたパッケージ商品を造成する。

(3) 宿泊型サイクリングの未発達

課題：長距離周遊型サイクリストは4泊以上滞在をしているが、鹿児島での宿泊利用が進んでいない。

対策：宿泊を含むサイクリングプランを整備する。

(4) 自転車持ち込み層へのサポート不足

課題：持ち込み派のサイクリストに対する専用設備（メンテナンスエリアなど）が不足している。

対策：宿泊施設や観光地にサイクリスト向け設備を整備し、各交通拠点で自転車輸送サービスを拡充。

3. 今後の展望

(1) 鹿児島をサイクリング目的地として確立

- ・英語・中国語・フランス語などの多言語対応サイトを整備し、鹿児島サイクリングルートを紹介し、インフルエンサーや海外メディアと連携し、鹿児島のサイクリング体験を海外市場に向けて発信。

(2) 高額消費層向けのプレミアムサービス提供

- ・高級宿泊施設と連携し、特別体験を組み込んだラグジュアリーサイクリングツアーを開発。
- ・高品質なロード・マウンテンのレンタルサービスを提供し、ハイエンドユーザーの需要に対応。

(3) 宿泊型サイクリングの推進

- ・鹿児島全域を巡るサイクリングと宿泊を組み合わせたパッケージツアーを造成。
- ・サイクリスト向けの宿泊特典（メンテナンスサービス、早朝食提供、荷物配送など）を導入。

(4) 自転車持ち込み層への対応強化

- ・宿泊施設や観光地にメンテナンス場所を設置し、長距離サイクリストが滞在できる環境を整備。
- ・空港や主要駅で自転車輸送サービスを導入し、アクセスの利便性を向上。

(5) 観光資源とサイクリングの融合

- ・「桜島・霧島・屋久島」などの自然景観を活かしたサイクリングツアーを開発。
- ・地元の食文化や伝統工芸体験を組み合わせたテーマツアーを造成し、他地域との差別化を図る。

海外周遊型サイクルツーリズムの発展には、鹿児島の認知度向上、高額消費層向けサービスの展開、宿泊型プランの強化、自転車持ち込み層への対応、観光資源との連携が不可欠である。鹿児島の自然・文化・食を活かしたサイクリング体験を提供し、国際的なサイクリストに選ばれる観光地を目指す。

■セグメント別分析 海外レンタサイクル要約

1. 調査概要

海外レンタサイクルとは、訪日外国人観光客が鹿児島県内でレンタサイクルを利用し、観光地を巡るスタイルが基本である。本調査は、インバウンド向けのレンタサイクル利用状況を把握し、観光振興および利用促進のための課題と対策を検討することを目的に実施した。対象は訪日外国人で、レンタサイクルの利用実態、認知度、利便性、言語対応の状況、観光資源との連携などを分析した。

【調査結果の概要】

- ・回答者122名のうち、鹿児島県でレンタサイクルを利用したことがあるのは16名。
- ・レンタサイクルの認知度が低く、「利用を検討したことがない」層が多数。
- ・レンタル時の言語対応が不十分で、予約や利用方法の説明が難しい。
- ・主要な観光地や駅・空港での貸出・返却拠点が少なく、利便性が低い。

2. 主な課題と対策

(1) 認知度の低さ

課題：鹿児島県内のレンタサイクルの存在が訪日外国人観光客に十分に知られていない。

対策：海外向けのSNS・観光サイト・旅行代理店と連携し、レンタサイクルの情報を発信。

(2) 多言語対応の不足

課題：レンタル時の手続きや利用方法の案内が英語・中国語・韓国語などに対応しておらず、外国人観光客が利用しにくい。

対策：多言語対応のレンタサイクル予約サイトや、案内マニュアル（紙・デジタル）の整備。

(3) 主要拠点での貸出・返却の利便性不足

課題：駅・空港・主要観光地でのレンタル拠点が少なく、移動の選択肢として認識されにくい。

対策：主要駅や観光地での貸出・返却を可能にする「ワンウェイレンタルシステム」を導入。

(4) 高品質なレンタサイクルの不足

課題：スポーツタイプの自転車や電動アシスト自転車の選択肢が少なく、長距離や観光目的のニーズに対応できていない。

対策：E-bikeや高品質なロードバイク・マウンテンバイクの導入。

3. 今後の展望

(1) レンタサイクルの認知度向上と利用促進

- ・SNS・観光ポータルサイト・海外旅行メディアと連携し、レンタサイクルの魅力を発信。

(2) 多言語対応の充実

- ・予約サイトや案内パンフレットを英語・中国語・韓国語などに対応させ、利用者の利便性を向上させ、多言語対応のカスタマーサポートを導入し、レンタル時のトラブル対応をスムーズにする。

(3) レンタル拠点の拡充とワンウェイレンタルの導入

- ・主要観光地・駅・空港にレンタル拠点を設置し、借りた場所とは異なる拠点で返却可能にするワンウェイレンタルを導入。

(4) 高品質レンタサイクルの導入とサービス向上

- ・E-bikeや高性能なロードバイクを導入し、長距離サイクリングのニーズに対応。

(5) 観光ルートとレンタサイクルの連携強化

- ・観光施設や飲食店と連携し、レンタサイクル利用者向けの特典や割引を導入。

海外レンタサイクルの利用促進には、認知度向上、多言語対応の充実、レンタル拠点の拡充、高品質レンタサイクルの導入、観光ルートとの連携が不可欠である。訪日外国人が快適にレンタサイクルを活用できる環境を整え、鹿児島の観光資源を最大限に活かす施策が求められる。

■セグメント別分析 鹿児島県内利用状況要約

1. 調査概要

本調査は、鹿児島県内におけるサイクルツーリズムの現状を把握し、観光振興策の改善に活用することを目的に実施した。対象は鹿児島県民で、サイクリングの利用実態、目的、消費傾向、宿泊状況、課題などを分析した。

【調査結果の概要】

- ・回答者332名のうち、鹿児島県内でサイクリングを経験したことがあるのは79名（約24%）。
- ・県内のサイクリングは「日帰り利用」が中心で、宿泊を伴う利用は約15%。
- ・消費額は「5,000円未満」が最も多く、観光消費への影響は限定的。
- ・レンタサイクルの利用率は低く、多くが自転車を持ち込みしている。
- ・サイクリングの目的は「自然景観を楽しむ」が最多で、「歴史・文化体験」との組み合わせは少数。

2. 主な課題と対策

(1) サイクルツーリズムの認知度不足

課題：鹿児島県民がサイクリングをアクティビティと捉えておらず、情報発信が不足。

対策：SNS・観光ポータルサイト・旅行代理店を活用し、鹿児島のサイクルツーリズムの魅力を発信。

(2) 日帰り利用の多さ

課題：サイクリング利用者の85%が日帰りで、宿泊を伴う観光が少ない。

対策：「サイクリング+温泉」など、宿泊を絡めたプランを開発し、滞在時間を延長。

(3) 経済波及効果の低さ

課題：サイクリング中の消費額が5,000円未満にとどまり、地元経済への影響が限定的。

対策：地元飲食店・観光施設と連携し、立ち寄りスポットを増やす。

(4) レンタサイクルの利便性の低さ

課題：主要駅・空港・観光地での貸出・返却拠点が少なく、観光客の利用が進んでいない。

対策：レンタル拠点を拡充。

(5) サイクリングルートと観光資源の連携不足

課題：「自然景観を楽しむ」目的が多い一方で、「歴史・文化体験」との組み合わせが少なく、観光資源との連携が不十分。

対策：「サイクリング+歴史」「サイクリング+文化体験」など、地域資源を活用したルートを開発。

3. 今後の展望

(1) サイクルツーリズムの認知度向上

- ・SNS・動画コンテンツ・旅行サイトを活用し、県内に鹿児島のサイクリングの魅力を発信。

(2) 宿泊型サイクリング観光の推進

- ・県民向けの「サイクリング+温泉」「サイクリング+グルメ」などのテーマ別宿泊プランを造成。

(3) サイクリング中の経済波及効果の向上

- ・「サイクルスタンプラリー」や「サイクリングパス」の導入により、特典を提供。

(4) サイクリングルートと観光資源の融合

- ・「桜島サイクリング+温泉」「霧島サイクリング+神話探訪」「指宿サイクリング+砂蒸し温泉」など、観光資源と組み合わせたルートを開発。
- ・地元の歴史や文化体験を取り入れ、観光の魅力を向上。

鹿児島県内のサイクリング利用促進には、認知度向上、宿泊型の推進、経済波及効果の向上、レンタサイクルの利便性強化、県内資源との連携が不可欠である。鹿児島県民がサイクリングを通じて鹿児島の自然・文化・食をより深く楽しめる施策が求められる。

■セグメント別分析 鹿児島県内レンタサイクル要約

1. 調査概要

本調査は、鹿児島県内のレンタサイクルの利用状況を把握し、観光振興や利用促進のための課題と対策を検討することを目的に実施した。対象は鹿児島県民で、レンタサイクルの認知度、利用実態、利便性、観光資源との連携、今後の利用意向などを分析した。

【調査結果の概要】

- ・回答者332名のうち、鹿児島県内のレンタサイクルを利用したことがあるのは21名（約6%）。
- ・「レンタサイクルの存在を知らなかった」との回答が58%を占め、認知度が低い。
- ・主要駅・観光地での貸出・返却拠点が少なく、利便性が低いとの指摘が多数。
- ・レンタル可能な自転車の種類が限られており、スポーツバイクや電動アシスト自転車の選択肢が不足。
- ・観光目的での利用よりも「移動手段」としての利用が多い。

2. 主な課題と対策

(1) 認知度の低さ

課題：レンタサイクルの存在や利用方法が十分に認知されていない。

対策：SNS・県民向け情報市での情報発信を強化し、利用を促進する。

(2) 利便性の低さとレンタル拠点の不足

課題：主要な観光地や駅での貸出が少なく、利用しづらい。

対策：レンタサイクル拠点を増設する。

(3) レンタサイクルの車種不足

課題：現在のレンタサイクルはシティサイクルが中心で、スポーツバイクや電動アシスト自転車の選択肢が少ない。

対策：スポーツE-bikeやロードバイク・マウンテンバイクを導入し、多様なニーズに対応する。

(4) 観光資源との連携不足

課題：レンタサイクルを使ったルート情報が少なく、余暇の楽しみ方との結びつきが弱い。

対策：「レンタサイクル＋観光」「レンタサイクル＋グルメ」などのモデルルートを作成し、観光客向けに提案する。

3. 今後の展望

(1) レンタサイクルの認知度向上と利用促進

- ・情報発信を強化し、県民への周知を拡大。

(2) レンタル拠点の拡充と利便性向上

- ・レンタサイクル拠点を設置し、貸出・返却の利便性を向上。

(3) レンタサイクルの種類を充実

- ・E-bikeやスポーツバイクを導入し、上級者から初心者でも楽しめる環境を整備。
- ・家族連れ向けの子ども用自転車やタンデムバイク（2人乗り）を導入し、多様なニーズに対応。

(4) 観光資源とレンタサイクルの連携強化

- ・地元飲食店や観光施設と提携し、レンタサイクル利用者向けの特典や割引を導入。

(5) プロモーション活動の強化

- ・SNSやYouTubeで、レンタサイクルを活用した観光の楽しさを発信。
- ・実際の利用者の口コミや体験談を活用し、リアルな魅力を伝える。

鹿児島県内のレンタサイクル利用促進には、認知度向上、レンタル拠点の拡充、車種の多様化、プロモーション強化が不可欠である。鹿児島県民が気軽にレンタサイクルを利用できる環境を整え、鹿児島の資源をより魅力的に活用する施策が求められる。

■ サイクルノベルティの制作・発送

アンケートに回答してくれた日本人155名を対象に抽選を行い、当選者50名にサイクルノベルティを発送した。

■ 制作物

色：白と青の2色

サイズ：S・M・Lの3種

■ 当選者発送

鹿児島県26名 鹿児島県を除く九州沖縄18名 中国四国2名 関西圏3名 関東圏1名 計50名

表



裏



■ 道路管理者別延長整理

株式会社Bike is Life 山田氏による現地実走とルートマップを照合して、以下の通り道路管理者別延長整理を行った。

南薩ルート	番号	距離(km)	備考
サイクリングターミナルりんりん			
県管理道路		11.7	加世田日吉自転車道線
県管理道路		1.9	加世田日吉自転車道線
県管理道路	国道270	14.8	国道270号
	県道303	2.7	(一)江口長里線
国管轄	国道3	1.0	
県管理道路	県道24	5.6	(主)鹿児島東市来線
	市町村管轄	0.2	
	県道206	17.2	(一)徳重横井鹿児島線
国管轄	国道3	3.9	
県管轄	国道10	0.9	
臨港道路（県）	市町村管轄	1.3	
	県道216	0.5	(一)鹿児島港城南線
	国道225	0.2	
	市町村管轄	1.1	
	鹿児島港臨港道路	2.4	
	市町村管轄	0.8	
	県道218	0.2	(一)鹿児島港下荒田線
	市町村管轄	1.0	
	県道217	1.5	(一)郡元鹿児島港線
県管轄	県道217	4.6	(一)郡元鹿児島港線
県管轄	県道219	1.2	(一)玉取迫鹿児島港線
臨港道路（県）	臨港道路	2.0	
県管轄	県道219	1.0	(一)玉取迫鹿児島港線
国管轄	国道226	25.8	
県管理道路	県道238	9.7	(一)下里湊宮ヶ浜線
	国道269	4.4	(一)坊之津久木野線
市町村管轄		1.7	
県管理道路	国道226	95.3	国道226号
市町村管轄		0.7	
県管理道路		4.4	加世田日吉自転車道線
サイクリングターミナルりんりん			

北薩ルート	番号	距離(km)	備考
川内駅			
県管理道路	県道42	0.4	(主)川内加治木線
	市町村管轄	0.8	
	県道43	10.2	(主)川内串木野線
市町村管轄		1.8	
県管轄	県道44	2.0	(主)京泊大小路線
市町村管轄		3.6	
国管轄	国道3	19.1	
市町村管轄		2.9	
県管轄	県道365	8.0	(一)脇本赤瀬川線
	国道389	17.4	国道389号
	県道379	10.0	(一)長島宮之浦港線
	県道47	12.7	(主)葛輪瀬戸線
	国道389	4.1	国道389号
	県道378	11.3	(一)荒崎黒之浜線
市町村管轄		5.5	
国管轄	国道3	2.7	
県管轄	国道328	29.7	国道328号
市町村管轄		5.1	
県管轄	県道392	0.5	(一)薩摩山崎停車場線
	県道393	2.0	(一)原口薩摩山崎停車場線
市町村管轄		3.0	
県管轄	県道51	1.0	(主)宮之城加治木線
市町村管轄		1.2	
県管轄	県道405	0.1	(一)久富木蘭牟田線
市町村管轄		3.7	
県管轄	県道42	19.7	(主)川内加治木線
川内駅			

6. モデルルートの道路管理者別延長の整理

65

甌島ルート	番号	距離(km)	備考
川内港			
県管轄	県道44	0.5	(一)長島宮之浦港線
フェリー			
市町村管轄		0.2	
県管理道路	県道352	8.5	(一)瀬上里線
	県道348	3.8	(一)桑之浦里港線
	県道351	8.7	(一)鹿島上甌線
	県道349	24.6	(一)手打蘭牟田港線
	県道350	2.6	(一)長浜手打港線
	市町村管轄	0.6	
	県道350	2.6	(一)長浜手打港線
	県道349	9.7	(一)手打蘭牟田港線
市町村管轄		0.3	
フェリー			
市町村管轄		0.2	
県管轄	県道43	5.8	(主)川内串木野線
市町村管轄		0.6	
県管轄	県道43	14.3	(主)川内串木野線
	市町村管轄	5.1	
市町村管轄			
県管轄	県道44	1.6	(主)京泊大小路線
川内港			

6. モデルルート of 道路管理者別延長の整理

66

川内川流域ルート	番号	距離(km)	備考
吉松駅			
市町村管轄		1.2	
県管理国道	国道268	9.0	国道268号
市町村管轄		11.7	
県管轄	県道424	4.0	(一)針持菱刈線
市町村管轄		20.9	
県管轄	県道397	2.3	(一)鶴田定之段線
	県道398	2.4	(一)紫尾虎居線
市町村管轄		4.3	
県管理国道	国道267	0.6	国道267号
市町村管轄		1.2	
県管理国道	国道504	1.2	国道504号
県管轄	県道344	0.3	(一)東郷山田宮之城線
市町村管轄		5.2	
県管理国道	国道267	9.6	国道267号
県管轄	県道335	0.5	(一)市比野東郷線
	県道394	6.3	(一)山崎川内線
市町村管轄		1.7	
県管轄	県道43	10.1	(主)川内串木野線
市町村管轄		1.9	
県管轄	県道44	1.1	(主)京泊大小路線
高速船ターミナル(川内港)			

6. モデルルート of 道路管理者別延長の整理

67

霧島・始良ルート	番号	距離(km)	備考
鹿児島空港			
市町村管轄		0.1	
県管理国道	国道504	3.3	国道504号
県管轄	県道56	4.0	(主)隼人加治木線
県管理国道	国道223	4.3	国道223号
市町村管轄		0.8	
県管轄	県道470	6.1	(一)犬飼霧島神宮停車場線
市町村管轄		0.8	
県管轄	県道475	2.0	(主)豊後迫隼人線
市町村管轄		0.9	
県管轄	県道60	6.8	(主)国分霧島線
県管理国道	国道223	10.8	国道223号
市町村管轄		9.4	
県管轄	県道103	1.5	(一)栗野停車場えびの高原線
市町村管轄		8.8	
県管轄	県道103	0.1	(一)栗野停車場えびの高原線
市町村管轄		1.1	
県管轄	県道55	4.3	(主)栗野加治木線
市町村管轄		1.3	
県管轄	県道449	0.5	(一)横川停車場線
	県道55	7.8	(主)栗野加治木線
県管理国道	国道504	4.0	国道504号
県管轄	県道40	15.7	(主)伊集院蒲生溝辺線
	県道463	0.4	(一)浦蒲生線
市町村管轄		0.6	
県管轄	県道42	0.7	(主)川内加治木線
	県道25	3.7	(主)鹿児島蒲生線
	県道58	6.1	(主)隼人港線
市町村管轄		2.6	
県管轄	県道465	0.7	(一)松原帖佐停車場線
市町村管轄		0.5	
国管轄	国道10	0.3	
市町村管轄		2.0	
国管轄	国道10	4.1	
県管轄	県道471	4.1	(一)北永野田小浜線

市町村管轄		4.1	
県管理国道	国道504	1.5	国道504号
	国道223	1.8	国道223号
県管轄	県道477	6.7	(一)隼人溝辺線
	県道56	2.6	(主)隼人加治木線
県管理国道	国道504	3.2	国道504号
市町村管轄		0.1	
鹿児島空港			

6. モデルルート of 道路管理者別延長の整理

69

大隅ルート	番号	距離(km)	備考
垂水港			
国管轄	国道220	9.5	
	国道224	13.3	
県管轄	県道26	21.3	(主)桜島港黒神線
国管轄	国道220	20.9	
県管轄	県道478	6.0	(一)比曽木野福山港線
市町村管轄		0.7	
国管轄	国道10	12.5	
市町村管轄		2.8	
県管轄	県道501	3.6	(一)光神山諏訪方線
	県道500	0.4	(一)末吉財部線
市町村管轄		3.6	
県管理国道	国道269	3.2	国道269号
市町村管轄		3.2	
県管轄	県道63	1.7	(主)志布志福山線
	県道110	2.4	(一)塗木大隅線
市町村管轄		4.0	
県管轄	県道63	1.3	(主)志布志福山線
市町村管轄		8.9	
県管轄	県道63	0.2	(主)志布志福山線
市町村管轄		8.8	
県管理国道	国道448	0.3	国道448号
市町村管轄		2.0	
県管理国道	国道448	0.4	国道448号
市町村管轄		0.6	
県管理国道	国道448	6.4	国道448号
市町村管轄		4.4	
県管理国道	国道448	0.6	国道448号
県管轄	県道539	8.8	(一)高山吾平線
	県道73	14.0	(主)鹿屋高山串良線
県管理国道	国道269	30.2	国道269号
市町村管轄		2.4	
県管理国道	国道269	0.1	国道269号
県管轄	県道68	10.9	(主)鹿屋吾平佐多線
	県道556	4.8	(一)高山吾平線
市町村管轄		2.8	

6. モデルルートの道路管理者別延長の整理

70

県管轄	県道566	4.8	(一)佐多岬公園線
	県道68	10.9	(主)鹿屋吾平佐多線
市町村管轄		0.1	
市町村管轄		2.4	
県管理国道	国道269	14.9	国道269号
県管轄	県道562	4.8	
県管理国道	国道448	1.2	国道448号
市町村管轄		5.6	
県管理国道	国道448	48.7	国道448号
県管轄	県道539	8.4	(一)高山吾平線
市町村管轄		3.6	
県管轄	県道539	1.6	(一)高山吾平線
	県道68	2.0	(主)鹿屋吾平佐多線
市町村管轄		4.0	
県管轄	県道540	1.5	(一)田湊田崎線
市町村管轄		2.8	
県管理国道	国道269	2.3	国道269号
市町村管轄		0.8	
県管轄	県道68	7.2	(主)鹿屋吾平佐多線
国管轄	国道220	12.1	
垂水港			

6. モデルルート of 道路管理者別延長の整理

71

錦江湾奥ルート	番号	距離(km)	備考
垂水港			
国管轄	国道220	9.5	
	国道224	12.9	
県管轄	県道26	21.2	(主)桜島港黒神線
国管轄	国道220	27	
	国道504	5.6	国道504号
	国道10	27.3	側道狭く車との距離が近い
市町村管轄		1.6	
国管轄	国道10	1.5	
臨港道路（県）		6.3	
鴨池港			
種子島ルート	番号	距離(km)	備考
西之表港			
市町村管轄		0.7	
県管轄	県道582	10.6	(一)西之表港線
	県道581		(一)伊関国上西之表港線
市町村管轄		3.0	
県管轄	県道581	1.6	(一)伊関国上西之表港線
市町村管轄		2.3	
県管轄	県道581	43.7	(一)伊関国上西之表港線
	県道591		(一)国上安納線
	県道75		(主)西之表南種子線
市町村管轄		5.6	
県管理国道	国道58	0.7	国道58号
県管轄	県道75	11.5	(主)西之表南種子線
市町村管轄		9.3	
県管轄	県道586	10.2	(一)荃永上中線
	県道75		(主)西之表南種子線
市町村管轄		2.8	
県管轄	県道75	13.1	(主)西之表南種子線
県管理国道	国道58	0.8	国道58号
県管轄	県道588	16.6	(一)野間島間港線
県管理国道	国道58	25.4	国道58号
県管轄	県道588	0.2	(一)野間島間港線
市町村管轄		0.3	
西之表港			

6. モデルルートの道路管理者別延長の整理

72

屋久島ルート	番号	距離(km)	備考
宮之浦港			
市町村管轄		0.7	
県管轄	県道78	60.6	(主)上屋久永田屋久線
	県道77	35.3	(主)上屋久屋久線
市町村管轄		1	
宮之浦港			

奄美北西ルート	番号	距離(km)	備考
AIAI広場			
市町村管轄		0.1	
県管轄	県道79	0.1	(主)名瀬瀬戸内線
	県道81	0.4	(主)名瀬竜郷線
市町村管轄		1.9	
県管轄	県道81	0.3	(主)名瀬竜郷線
市町村管轄		0.9	
県管轄	県道81	1.0	(主)名瀬竜郷線
市町村管轄		0.3	
県管轄	県道81	30.5	(主)名瀬竜郷線
県管理国道	国道58	1.2	国道58号
市町村管轄		7.0	
県管理国道	国道58	5.7	国道58号
県管轄	県道602	9.3	(一)佐仁赤木名線
	県道601	3.0	(一)佐仁万屋赤木名線
市町村管轄		1.7	
夢をかなえる「カメ」さん			

奄美北東ルート	番号	距離(km)	備考
夢をかなえる「カメ」さん			
市町村管轄		1.7	
県管轄	県道601	5.9	(一)佐仁万屋赤木名線
市町村管轄		0.8	
県管轄	県道601	3.2	(一)佐仁万屋赤木名線
	県道82	10.9	(主)竜郷奄美空港線
市町村管轄		1.4	
県管理国道	国道58	18.4	国道58号
県管轄	県道79	0.2	(主)名瀬瀬戸内線
市町村管轄		0.1	
AIAI広場			

6. モデルルート of 道路管理者別延長の整理

73

奄美中部北（大和村）ルート	番号	距離(km)	備考
厳島神社			
県管轄	県道79	27.1	(主)名瀬瀬戸内線
市町村管轄		0.4	
県管轄	県道79	20.9	(主)名瀬瀬戸内線
	県道605	0.1	(一)名瀬港線
市町村管轄		0.2	
県管轄	県道79	0.5	(主)名瀬瀬戸内線
市町村管轄		0.1	
AIAI広場			
奄美中部南（住用）ルート	番号	距離(km)	備考
AIAI広場			
市町村管轄		0.1	
県管轄	県道79	0.2	(主)名瀬瀬戸内線
県管理国道	国道58	28.6	国道58号
市町村管轄		8.7	
県管理国道	国道58	1.9	国道58号
市町村管轄		5.6	
県管轄	県道626	0.1	(一)蘇刈古仁屋線
ハートが見える風景			
奄美湯湾ルート	番号	距離(km)	備考
名柄集落			
県管轄	県道79	22.2	(主)名瀬瀬戸内線
市町村管轄		2.6	
船越海岸			
奄美瀬戸内町ルート	番号	距離(km)	備考
ヤドリ浜			
市町村管轄		2.4	
県管轄	県道626	8.2	(一)蘇刈古仁屋線
市町村管轄		0.3	
県管轄	県道79	28.2	(主)名瀬瀬戸内線
	県道627	5.9	県道79号と混在
名柄集落			

6. モデルルートの道路管理者別延長の整理

74

喜界島ルート	番号	距離(km)	備考
喜界空港			
市町村管轄		48	
喜界空港			
徳之島北部ルート	番号	距離(km)	備考
平土野港			
市町村管轄		6.4	
県管轄	県道629	3.1	(一)花徳浅間線
市町村管轄		2.2	
県管轄	県道629	6.6	(一)花徳浅間線
市町村管轄		1.2	
県管轄	県道629	8.7	(一)花徳浅間線
	県道80	10	(主)伊仙亀津徳之島空港線
市町村管轄		5.5	
亀徳港			
徳之島南部ルート	番号	距離(km)	備考
亀徳港			
県管轄	県道80	14.9	(主)伊仙亀津徳之島空港線
	県道83	1	(主)伊仙天城線
市町村管轄		2.8	
県管轄	県道83	0.6	(主)伊仙天城線
市町村管轄		6.9	
県管轄	県道83	6.8	(主)伊仙天城線
市町村管轄		6.9	
平土野港			

6. モデルルートの道路管理者別延長の整理

75

沖永良部島ルート	番号	距離(km)	備考
和泊港			
市町村管轄		0.5	
県管轄	県道84	5.2	(主)知名沖永良部空港線
市町村管轄		33.1	
県管轄	県道620	2.9	(一)国頭知名線
市町村管轄		12.4	
県管轄	県道84	1.8	(主)知名沖永良部空港線
市町村管轄		0.1	
和泊港			
与論島ルート	番号	距離(km)	備考
与論空港			
市町村管轄		2.7	
県管轄	県道623	0.3	(一)与論島循環線
市町村管轄		0.1	
県管轄	県道623	0.8	(一)与論島循環線
市町村管轄		16.5	
県管轄	県道631	0.9	(一)与論空港茶花線
市町村管轄		0.2	
与論空港			

■総括

本事業を通じて、将来的な旅行商品化を目指して台湾・韓国の旅行会社を招聘したFAMトリップツアーと、セグメント別動向調査をもとに、現状の課題を抽出した。それらを次年度以降の観光消費額増につなげるため、中長期的な事業計画を策定し、抽出した課題に対して優先順位をつけて推進していく必要があると考える。

また現状においては、鹿児島県を旅行先として選ばれるだけの認知度が低いことから、誘客ターゲットを絞って中長期的なプロモーション・情報発信をしていかなければならないだろう。

■今後に向けて

①鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会・地域部会の運営

今後各地域でサイクルツーリズムを盛り上げていくためには、地域部会に新たな民間事業者（自転車事業者や観光事業者、アクティビティ事業者等）を加えて、地域部会を開催する。

また、各地域のサイクルイベントを横連携して集客を図るためにも、地域単独での部会開催に限らない。

②サイクルモデルルートのブラッシュアップ

多様なサイクリストや幅広い旅行ニーズに応えるため、既存の24モデルルートをベースとしたショートコースの設定を検討する。

また、ルート走破の証明書や記念品等についても検討が必要である。

③旅行商品の造成

インバウンドの重点ターゲットを定め、旅行商品造成ならびに販売のための取り組みを推進していく。重点ターゲットを台湾・韓国とした場合、本事業で招請した旅行会社へ働きかけを行い、旅行商品化に向けた連携が必要である。

④プロモーションの実施

鹿児島県のサイクルツーリズム推進や、各地域のサイクルイベントを広く周知していくために、県や各自治体の観光サイトやSNSを活用して、多様な手段で広く情報発信していく。

日本語のみならず、多言語サイトも用意して、中長期的かつ継続的な発信を行う。

⑤サイクルステーションおよびサイクリストに優しい宿の登録施設拡充

将来的に県内一円にサイクルステーションおよびサイクリストに優しい宿の施設が充実するよう、登録に向けて継続的なアプローチが必要である。